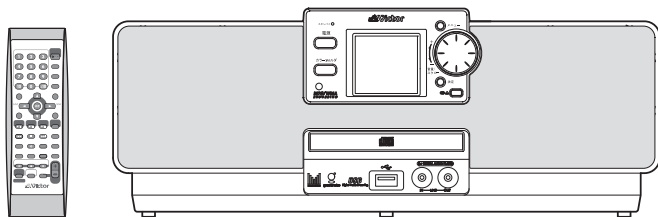
取扱説明書／保証書

CD メモリーポータブルシステム

型名 RD-M8 -S/-W/-P/-H

－お買い上げありがとうございます－

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書／保証書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に 7 ～ 11 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録
のおすすめ

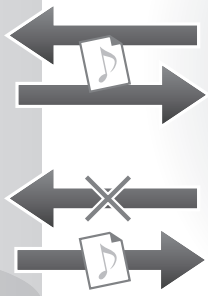
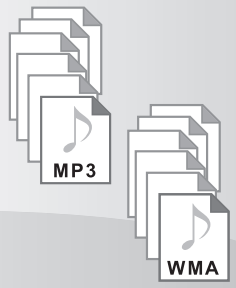
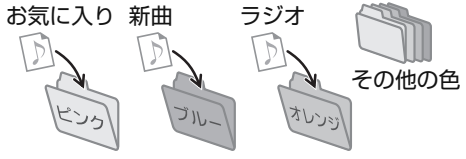
お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のより良い製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

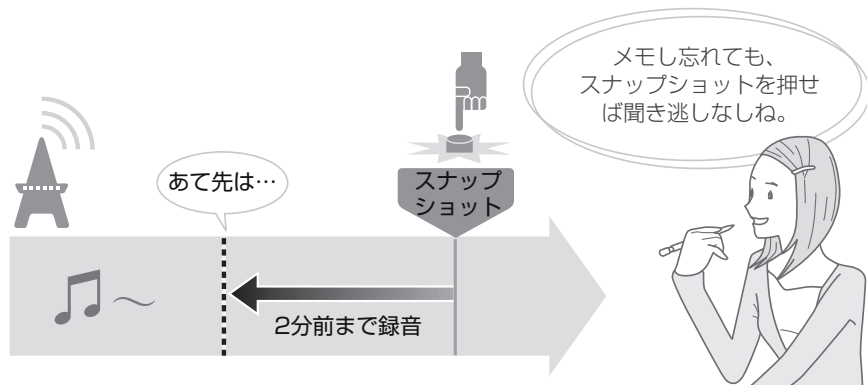
●**下記アドレスのホームページより、ご登録ください。**
http://www.victor.co.jp/reg/

LVT2153-001C

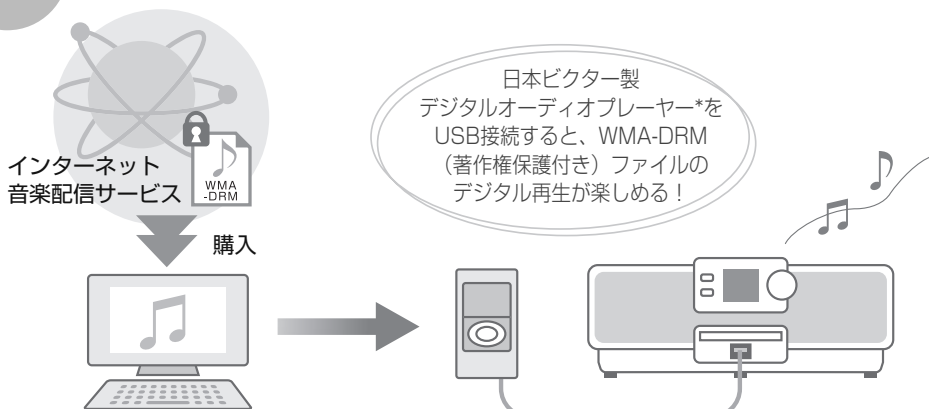
こんなことができます

曲をストックする
▶ 34 ページ
いろんな音源から
曲を取り込める！
CD
MD
MD/カセット
テープなど
（外部機器から）
MP3
WMA
曲情報の取り込み
曲名
アーティスト名
アルバム名
CD 情報を取り込む
▶ 29 ページ
携帯電話につなげば
マジックシンク
MagicSyncでCD情報
を取り込める！
曲情報のGracenote
データベース
携帯電話

曲を持ち出して聞く
▶ 48 ページ
メモリー 8GB
MP3
WMA
スピード転送だから、
忙しい朝もうれしいわ。
デジタル
オーディオ
プレーヤー
USBメモリー
携帯電話
曲を探して聞く
▶ 61 ページ
7色のカラーフォルダで整理
お気に入り
新曲
ラジオ
その他の色
ピンク
ブルー
オレンジ
曲情報で整理
プレイリスト
アルバム
アーティスト
ジャンル
音楽ファイルをフォルダ
に整理できるから
曲が探しやすい！

こんなことができます

ラジオで聞き逃した情報を さかのぼって録る　－スナップショット－

ラジオを録音する

▶ 42 ページ

著作権保護された音楽も再生

*XA-C210/110/51/109/59、XA-V80/40/20。
ただし、XA-C109/59はファームウェアのバージョンアップが必要です。(➡ 55ページ)

WMA-DRM（著作権保護付き）ファイルのデジタル再生について

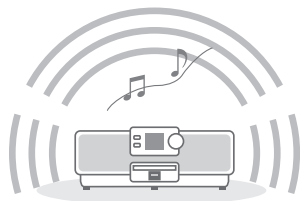
▶ 55 ページ

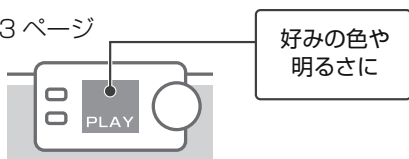
音の向きを変える　－サウンドシューター－

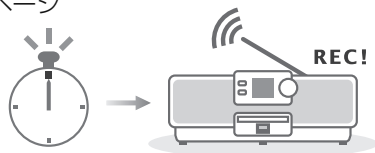
▶ 75 ページ

こんなことができます

音に広がりを持たせる（αサウンド）

▶ 75 ページ

ディスプレイの表示を変える

▶ 93 ページ

ラジオ番組をタイマーで録音する

▶ 86 ページ

再生タイマーを使う

▶ 86 ページ

スリープタイマーを使う

▶ 85 ページ

CD の取り出しをロックする（チャイルドロック）

▶ 95 ページ

本書の見かた

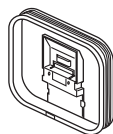
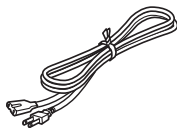
主に**リモコンのボタンを使って**操作説明しています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

- 本文中のボタン名は、数字ボタン以外は［ボタン名］で表示しています。
- 内蔵されているメモリーを、本書では「メモリー」と表現しています。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 本書で説明している以外の方法でも操作できる場合があります。

付属品の確認

- リモコン（1 個）

- リモコン動作確認用単 3 乾電池（2 本）

- 電源コード（1 本）
- AM ループアンテナ（1 個）

安全上のご注意 ―はじめにお読みください―

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

交流 100V(ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

付属の電源コード以外は使用しない。

火災や感電の原因となることがあります。

付属の電源コードを本機以外には使用しない。

火災や感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

水ぬれ禁止

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

本機の上に火のついたものを置かない。

火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

移動するときには、アンテナをたたむ。

けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。
安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから 10cm 以上離す

電源プラグを抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。
電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. **注意**：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。
3. 機器内部には、以下のラベルがあります。

CAUTION	ATTENTION	AVISO	VARNING	注意	CAUTION
VISIBLE AND/OR INVISIBLE CLASS 1M LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS. IEC60825-1:2001 (ENG)	RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET/OU INVISIBLE DE CLASSE 1M UNE FOIS OUVERT. NE PAS REGARDER DIRECTEMENT AVEC DES INSTRUMENTS OPTIQUES. (FRA)	RADIACIÓN LÁSER DE CLASE 1M VISIBLE Y/O INVISIBLE CUANDO ESTÁ ABIERTO. NO MIRAR DIRECTAMENTE CON INSTRUMENTAL ÓPTICO. (ESP)	SYNLIG OCH/ELLER OSYNLIG LASERSTRÅLNING, KLASS 1M, NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. BETRAKTA EJ STRÅLEN MED OPTISKA INSTRUMENT. (SWE)	ここを開くと可視及び/または不可視のクラス1Mレーザー放射が出ます。光学装置で直接見ないでください。 (JPN)	VISIBLE AND/OR INVISIBLE CLASS Ⅱ LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM. FDA 21 CFR (ENG) LV44603-003A

注意：ここを開くと可視及び／または不可視のクラス 1M レーザー放射が出ます。
光学装置で直接見ないでください。

⚠ 注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

手を挟まれないよう注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3 年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、リモコンの内部についた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

一般的注意

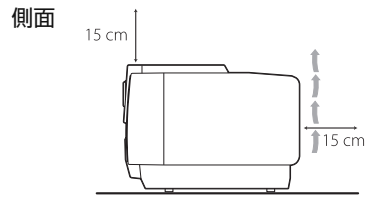
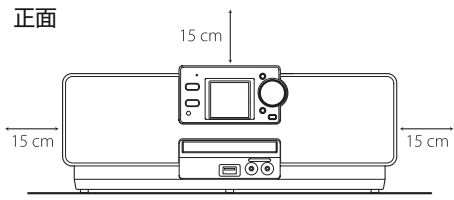
電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

欧州連合のリサイクルマークです。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通気孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA 機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約 1 ～ 2 時間待ってから、ご使用ください。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

■ データのお取扱いについて

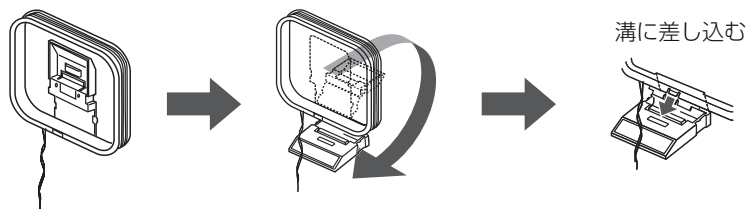
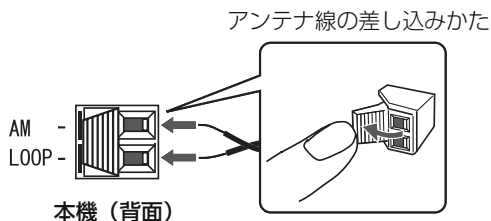
- 本機の故障または不測の事態などにより、再生、録音において利用の機会を逸したために発生した損害などの補償については、ご容赦ください。大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 本機と接続機器間での録音（移動）、再生のときに、データ［内蔵メモリー、USB 接続機器（携帯電話含む）］の消失または破損が生じた場合の補償はご容赦ください。
- MagicSync で取得した曲情報のデータが、本機の故障または不測の事態により、消失した場合の補償についてもご容赦ください。

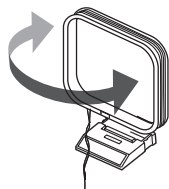
目次

準備する

接続する すべての接続が終わるまでは電源プラグをコンセントに差さないでください。

AM アンテナの接続と調節

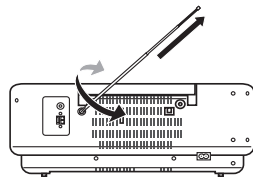
1 AM ループアンテナ（付属品）を組み立てる

2 アンテナ線を接続する

3 AM 放送を受信する（➡ 70 ページ）

4 AM 放送を聞きながら、アンテナの設置場所や向きを調節する
AM ループアンテナは、本体からできるだけ離して置いてください。

お知らせ

AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。
枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。

FM アンテナの調節

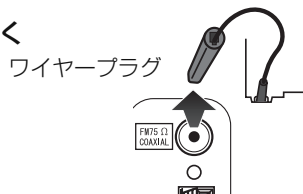
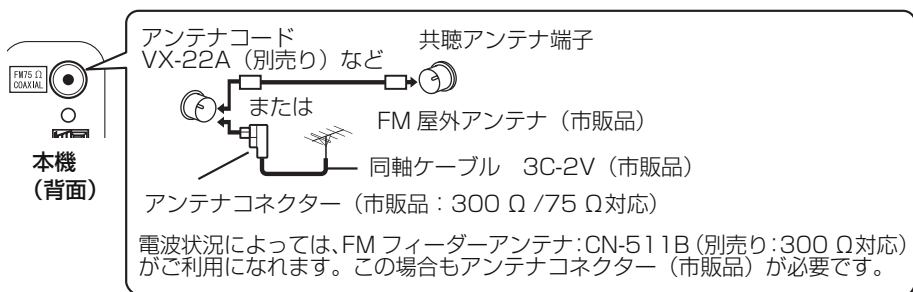
FM 放送を受信するために必要な FM アンテナを調節します。

1 **FM ロッドアンテナを伸ばす**

2 **FM 放送を受信する（➡ 70 ページ）**

3 **FM 放送を聞きながら、アンテナの向きや長さを調節する**

■ FM 放送をうまく受信できないときは
共聴アンテナまたは FM 屋外アンテナ（市販品）に接続すると、受信状態を改善できる場合があります。

1 **アンテナ端子に接続されているワイヤープラグを抜く**

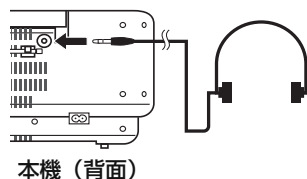
ワイヤープラグ

2 **共聴アンテナまたは FM 屋外アンテナ（市販品）に接続する**

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書をご覧ください。

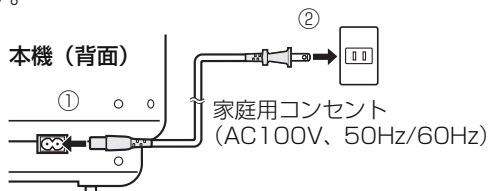
ヘッドホンの接続

ヘッドホン（市販品）を接続して聞くことができます。

ご注意

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 聴力保護のため、ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎないでください。

本機（背面）

電源コードの接続

電源コード（付属品）を次の順序で接続します。

お知らせ

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。（電源が切れていても、電源コードが接続されていると約 0.8 Wの電力を消費します。）

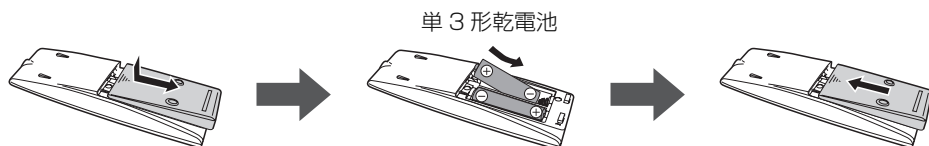
ご注意

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードは、本機以外の機器には使用しないでください。
- 本機を持ち運びするときは電源コードやアンテナ線、他の機器との接続コードを事前にはずし、ハンドルを持って運んでください。特に FM 用屋外アンテナを接続しているときは、ご注意ください。
- 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が 5 分以上続くと、時計の設定は取り消されます。そのときは時計を合わせ直してください。
- 動作中にいきなり電源プラグを抜くと、記録されている音楽データが損なわれることがあります。必ず電源ボタンを押して電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

リモコンに電池を入れる

ご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」（➡ 7 ページ）をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 落としたり、ぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えたりしないでください。

単 3 形乾電池

リモコン内部の極性表示（＋ / －）
に合わせて正しく入れてください。

■ リモコンを使うには

- リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約 5m 以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい乾電池と交換してください。

各部の名前とはたらき

リモコン

メニューボタン
押す：メニューを表示 / 1 つ前へ戻る
2 秒押しつづける：再生画面を表示

サブメニューボタン
押す：サブメニューを表示 / 1 つ前へ戻る
2 秒押しつづける：再生画面を表示

カラーフォルダボタン
カラーフォルダを表示
(➡ 28 ページ)

スナップショットボタン
(➡ 44 ページ)

メニュー操作部

>>I 次フォルダを選択
I<< 前フォルダを選択
◄▲▼► 上下左右にスクロール
決定 選択を決定

ソース（音源）ボタン
►/II CD、メモリーまたは USB の再生 / 一時停止
FM/AM/LINE 切り換え

基本操作部
I◄◄ ►►I 曲の頭出し、早送り / 早戻し、ラジオ選局
■ 停止

時計 / タイマー設定部
(➡ 85 ページ)

オートスタンバイボタン
(➡ 24 ページ)

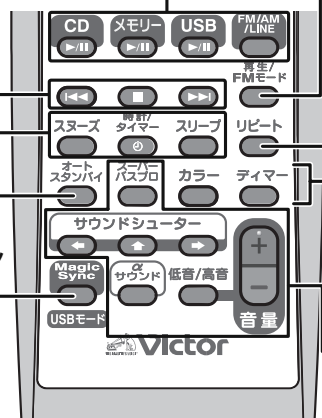
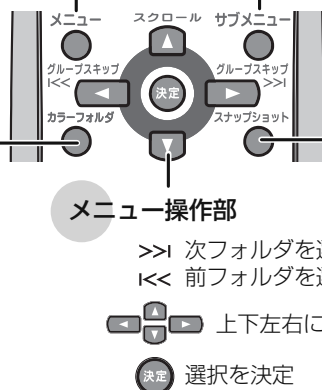
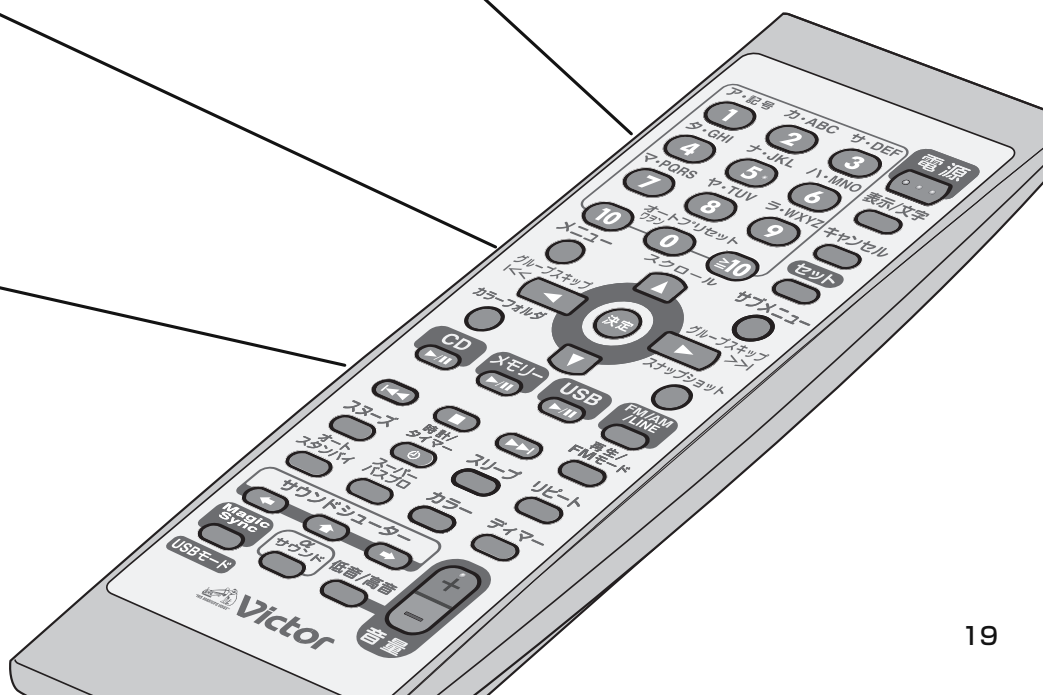
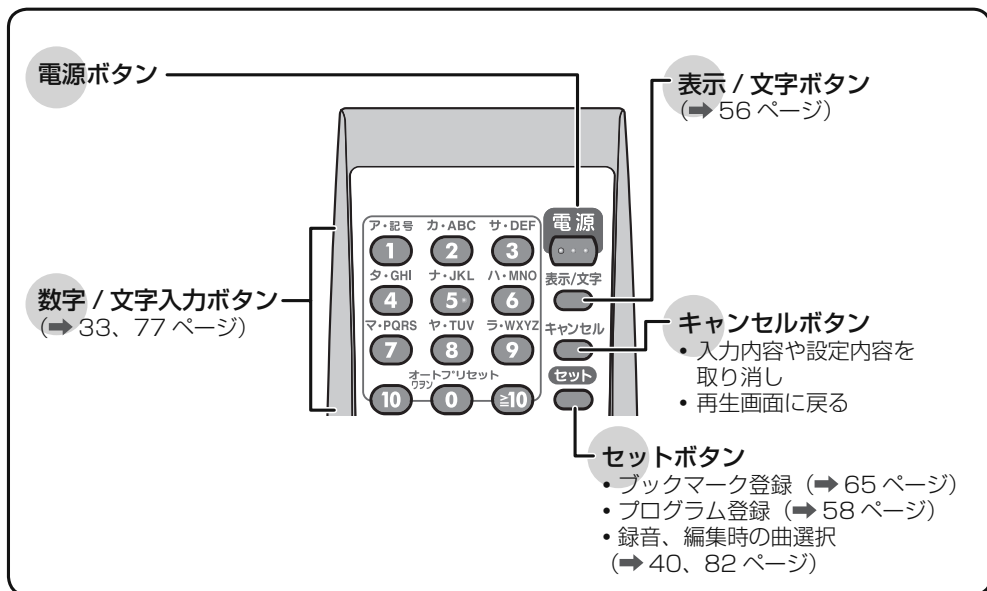
MagicSync ボタン
曲情報を取得
(➡ 30、63 ページ)
USB モードボタン
(➡ 55 ページ)

再生 /FM モードボタン
再生方法（➡ 59、69 ページ）/FM モード（➡ 72 ページ）を切り換え

リピートボタン
(➡ 68 ページ)

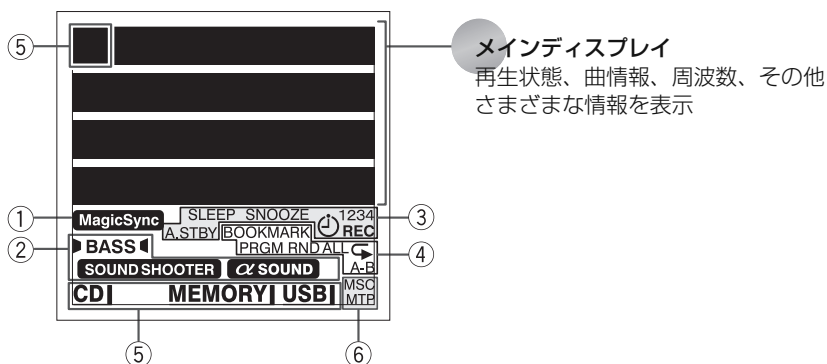
カラー / ディマーボタン
(➡ 93 ページ)

音量 / 音質調整部
(➡ 74 ページ)

電源ボタン
表示 / 文字ボタン
(➡ 56 ページ)
数字 / 文字入力ボタン
(➡ 33、77 ページ)
キャンセルボタン
• 入力内容や設定内容を取り消し
• 再生画面に戻る
セットボタン
• ブックマーク登録（➡ 65 ページ）
• プログラム登録（➡ 58 ページ）
• 録音、編集時の曲選択
(➡ 40、82 ページ)
電源
表示/文字
キャンセル
セット
Victor
音量

本体

録音操作部
メモリー録音　：メモリーに録音（➡ 40ページ）
USB録音　：USB機器に録音（➡ 40ページ）
スナップショット：（➡ 44ページ）
αサウンドボタン
（➡ 75ページ）
基本操作部
⏮ 曲の頭出し、
⏭ 早送り/早戻し、
ラジオ選局
■ 停止
カラーボタン
表示窓の色を変更
（➡ 93ページ）
スヌーズボタン
再生タイマー動作中に、一時的に消音（➡ 92ページ）
ソース（音源）ボタン
CD ►/❚❚
メモリー ►/❚❚
USB ►/❚❚
FM/AM/LINE
MagicSyncボタン
曲情報を取得
（➡ 30、63ページ）
メニューボタン
押す：メニューを表示/1つ前へ戻る
2秒押しつづける：再生画面を表示
表示窓
電源ボタン
（➡ 24ページ）
カラーフォルダボタン
カラーフォルダを表示
（➡ 28ページ）
音量/スクロール
◆ 音量を調節
（➡ 33ページ）
◆ メニューを上下スクロール表示（➡ 25ページ）
リモコン受光部
CDトレイ
決定ボタン
選択を決定
USB端子
USB機器を接続
（➡ 32ページ）
LINE IN/OUT端子
外部機器を接続
（➡ 45ページ）
CD取り出しボタン

表示窓

メインディスプレイ
再生状態、曲情報、周波数、その他さまざまな情報を表示

①曲情報	MagicSync	MagicSync 使用可能
②音質	BASS	重低音を強調（➡ 74 ページ）
	α SOUND	音に広がりを持たせる（αサウンド）（➡ 75 ページ）
	SOUND SHOOTER	音の向きを調節する（➡ 75 ページ）
③時計・タイマー	SLEEP	スリープタイマー（➡ 85 ページ）
	1234	再生タイマー（➡ 86 ページ）
	1234 REC	録音タイマー（➡ 86 ページ）
	SNOOZE	スヌーズ機能について（➡ 92 ページ）
	A.STBY	オートスタンバイ（➡ 24 ページ）
④再生方法	BOOKMARK	ブックマーク（➡ 65 ページ）
	PRGM	CD のプログラム登録（➡ 58 ページ）
	RND	ランダム再生　：メモリー /USB（➡ 69 ページ） ：CD（➡ 69 ページ）
	/ ALL	リピート再生　：メモリー /USB（➡ 68 ページ） ：CD（➡ 68 ページ）
	A-B	A-B リピート再生(メモリー /USB のみ)(➡ 68 ページ)
⑤再生ソース（音源）	/ CD	CD を聞く（➡ 58 ページ）
	/ MEMORY	メモリー /USB 機器を聞く（➡ 61 ページ）
	/ USB	
		ラジオを聞く（➡ 70 ページ）
		外部機器を聞く（➡ 73 ページ）
⑥ USB 接続	MTP*	本機の USB モードを切り換える（➡ 55 ページ） メモリー /USB 機器間で録音する（➡ 48 ページ） メモリー /USB 機器を聞く（➡ 61 ページ）
	MSC*	

* MTP/MSC 表示は、USB 機器と本機の接続が確立されるまで点滅します。

携帯電話を本機でご使用になる前に ー必ずお読みくださいー

携帯電話を接続するための準備：

USB 端子に接続するとき：

- お持ちの携帯電話に合った USB ケーブル（市販品）をご用意ください。
- 充電機能付きの USB ケーブルで接続すると、携帯電話を充電することができます。

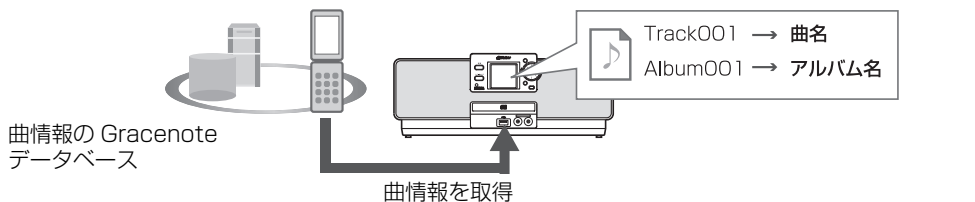
LINE IN 端子に接続するとき：

- お持ちの携帯電話に合った平型プラグ用オーディオコード（本機側がステレオミニプラグ）（市販品）をご用意ください。

携帯電話を使って本機でできること

音楽 CD と本機のメモリーの曲情報を携帯電話で取得する（MagicSync）～ USB 端子に接続～

本機と携帯電話を接続して MagicSync® を実行すると、インターネット上のサーバーに存在する曲情報の Gracenote データベースにアクセスして検索し、音楽 CD、本機のメモリーにある曲のアルバム名、アーティスト名、曲名などの曲情報を読み込めます。

- 接続している携帯電話が本機の MagicSync 機能に対応しているか確認してください。
（➡ 別紙「本機の対応携帯電話機種一覧」の MagicSync の欄をご確認ください。）

「MagicSync を使って録音してみよう」➡ 29 ページ
「メモリーの曲情報を取得するー MagicSync ー」➡ 63 ページ

MagicSync 機能ご利用時の携帯電話通信料金について

本機の MagicSync 機能をご利用になる場合は、パケット通信料と、メーカーにより（インターネット）接続料金が課金されます。

■ ご利用携帯電話メーカー別料金（2012 年 4 月現在）

メーカー	パケット通信料（目安）	接続料金（月額、利用月のみ）
SoftBank	0.2 円 / パケット	0 円
au	0.1 円 / パケット	945 円（税込）*1
NTT moperaU	0.2 円 / パケット	315 円（税込）*2

*1 au　au.net（プロバイダ不要のインターネット接続サービス）：月額利用料 900 円（税込 945 円）
*2 NTT moperaU で U ライトプランをご利用の場合　：月額利用料 300 円（税込 315 円）

ご利用料金は、お客様の携帯電話契約料金プランによって異なります。詳細はお持ちの携帯電話のご契約内容をお確かめの上、ご利用ください。

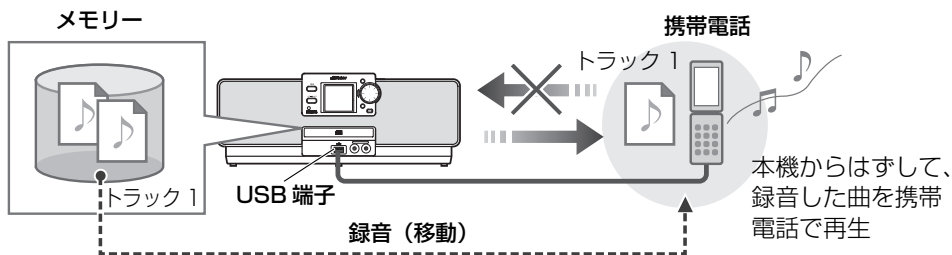
お知らせ

NTT ドコモ社の携帯電話での MagicSync 機能のご利用について

2012 年 3 月 31 日をもって、NTT ドコモ社のインターネットサービス「mopera」のサービスが終了いたしました。

これにともない、NTT ドコモ社の携帯電話にて本機の MagicSync 機能をご利用になる場合は、同社の提供する「moperaU」へのご契約が別途必要となります。

本機のメモリーにある曲を携帯電話に録音（移動）～ USB 端子に接続～

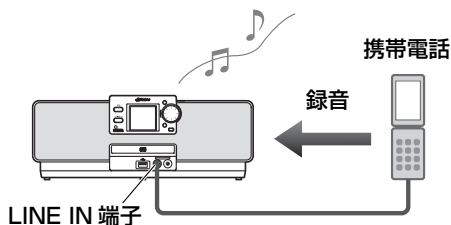
・接続している携帯電話が本機の USB 接続での録音機能に対応しているか確認してください。（➡ 別紙「本機の対応携帯電話機種一覧」の録音の欄をご確認ください。）

「メモリー /USB 機器間で録音する」（➡ 48 ページ）

・USB 端子に携帯電話を接続して、携帯電話の曲を録音（移動）することはできません。
本機から携帯電話に録音（移動）した曲を本機に再転送することはできません。

・携帯電話の曲を再生、録音したい場合は、下記をご覧ください。

携帯電話の曲を本機で再生、本機に録音　～ LINE IN 端子に接続～

携帯電話を LINE IN 端子に接続すると、携帯電話の曲を再生・録音できます。

・本機 USB 端子に接続したときは、携帯電話の曲の再生、携帯電話への録音はできません。

「外部機器から録音する」➡ 45 ページ
「外部機器をつないで聞く」➡ 73 ページ

準備する

基本操作

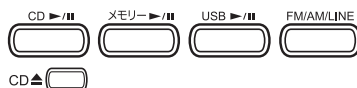
電源を入れる / 切る

 （または本体の ）を押す

電源が「切」の状態で、次のいずれかを押したときも電源が入ります。

- **リモコン**

- **本体**

基本操作

お知らせ

本体の CD⏏ 以外を押したときはソース（音源）も切換わります。ディスクやデータが入っているときは、再生が始まります。

自動的に電源を切る（オートスタンバイ）

FM/AM/LINE 以外のソース（音源）で、再生 / 録音の停止状態や無音状態が 3 分以上続いたときに、電源が自動で切れます。

[オートスタンバイ] を押す
押すごとに次のように切り換わります。

表示	表示窓
オートスタンバイ　オン	A.STBY
●オートスタンバイ　オフ	（表示なし）

●：お買い上げ時の設定

お知らせ

- メニュー -「設定」-「共通設定」-「オートスタンバイ」からも設定できます。
- 再生 / 録音の停止状態や無音状態になると、表示窓の A.STBY が点滅表示します。
- 再生 / 録音中に音量を「0」にしても、オートスタンバイは動作しません。

メニュー / サブメニューを操作する

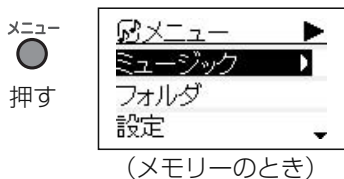
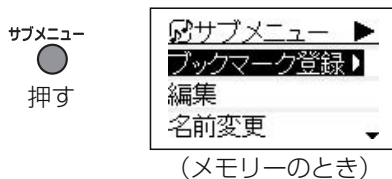
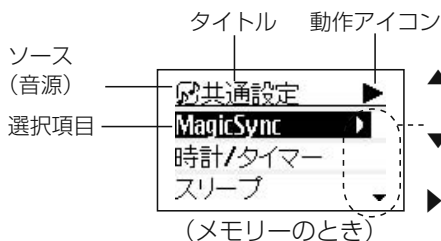
本機には、メニューとサブメニューがあります。曲の選択や、各種設定などができます。
メニュー、サブメニューの表示内容はソース（音源）や状態により異なります。

- メニュー表示項目一覧（➡ 102 ページ）
- サブメニュー表示項目一覧（➡ 105 ページ）

- **メニューを表示する**

（メモリーのとき）

- **サブメニューを表示する**

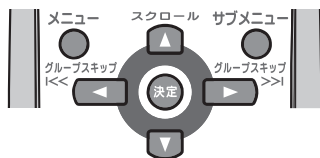
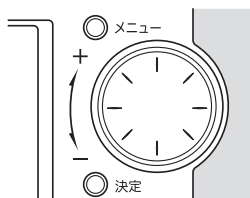
（メモリーのとき）

サブメニューを表示できるのは、リモコン操作のみです。

- **メニュー / サブメニュー画面表示**

（メモリーのとき）

▲ 見えていない項目が上にあるときに表示します。
▼ 見えていない項目が下にあるときに表示します。
▶ 次に階層があるときに表示します。

■ メニュー / サブメニュー画面操作

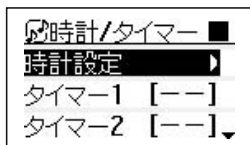
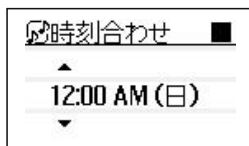
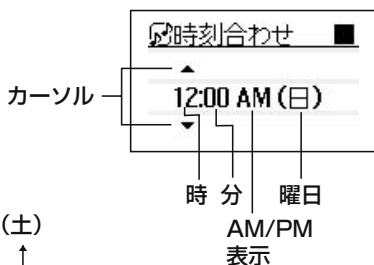
- **リモコン**

- **本体**

サブメニューボタンは本体にはありません。

操作	リモコン		本体
項目の選択	▲ ▼		（ダイヤル +/−）
次の階層を表示する	決定（または ►）		決定
1 つ前の画面に戻る	メニュー	メニュー（または ◄）	メニュー
	サブメニュー	サブメニュー（または ◄）	
選択を決定	決定		決定
メニューから再生画面に戻る	メニュー 2 秒押しつづける		メニュー 2 秒押しつづける
サブメニューから再生画面に戻る	キャンセル ただし、名前変更をしているときは［キャンセル］は文字削除となります。■ を押してください。		

基本操作

時計を合わせる

1 **［時計 / タイマー］を押す**

右の画面が表示されます。

2 **「時計設定」-「時刻合わせ」を選び、［決定］を押す**

3 **設定する項目にカーソルを合わせ（◀/▶）、「時」「分」「曜日」（▲/▼）を合わせる**

曜日はボタンを押すごとに次のように切り換わります。

（日）↔（月）↔（火）↔（水）↔（木）↔（金）↔（土）

AM/PM は 24 時間表示に設定すると表示されません。

4 **［決定］を押す**

［メニュー］を 2 秒押しつづけると再生画面に戻ります。

基本操作

お知らせ

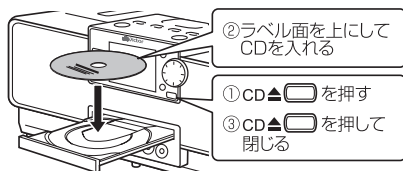
- 操作の途中で［メニュー］を押すと、１つ前の手順に戻ります。
- 操作の途中で[メニュー]を２秒押しつづけると再生画面に戻ります。(設定内容は取り消されます。)
- メニュー -「設定」-「共通設定」-「時計 / タイマー」からも時計を設定できます。
- 月に 1 分程度のずれが生じます。定期的に時計を合わせ直してください。
- 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が 5 分以上続くと、時計の設定は取り消されます。そのときは時計を合わせ直してください。
- 電源が切れているとき、および録音中は時計を設定できません。

■ 12 時間表示 /24 時間表示を切り換えるには

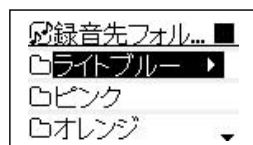
メニュー -「設定」-「共通設定」-「時計 / タイマー」-「時計設定」-「12/24 h」で、表示形式を設定します。

まず、使ってみよう

CD を録音して聞く（メモリー録音 / 再生）

1 CD を入れる

2 ソース（音源）を切り換えて、停止する
① [CD] を押す
② ■ を押す

3 本体の［メモリー録音］を押す

4 録音先のカラーフォルダを選ぶ
録音先フォルダは前回選んだフォルダが表示されます。
・表示されたフォルダの上のフォルダを表示するには：［メニュー］を押す
・表示されたフォルダの中を表示するには：［決定］を押す

5 本体の［メモリー録音］を押す
「携帯電話との接続を確認してください　はい　いいえ」が表示されます。

6 「いいえ」を選び、［決定］を押す
録音が始まります。
携帯電話を接続して CD の曲情報を取得したいときは：
➡ 29 ページ「MagicSync を使って録音してみよう」

7 「録音が終了しました」と表示されたら、［決定］を押す

8 ［カラーフォルダ］をくり返し押して、
録音先に選んだカラーフォルダを表示する
再生が始まります。
停止するときは、■ を押してください。

基本操作

ここでは、本機の基本操作について説明します。

MagicSync を使って録音してみよう

本機と携帯電話を接続して MagicSync® を実行すると、インターネット上のサーバーに存在する曲情報の Gracenote データベースにアクセスして検索し、音楽 CD のアルバム名、アーティスト名、曲名などの曲情報を読み込めます。

ご注意

- ディスクによっては曲情報を取得できない場合もあります。
- MagicSync は携帯電話で通信するため、曲情報取得の際に通信費がかかります。
  料金については、「MagicSync 機能ご利用時の携帯電話通信料金について」(➡ 22 ページ)をご覧ください。
- 携帯電話の電池残量がほとんど残っていない状態や、電池切れの状態では接続しないでください。
- 携帯電話の電波状態によっては通信できない場合があります。携帯電話の電波状態をご確認ください。
- 携帯電話接続中は、通話など携帯電話の操作はしないでください。
- 通信中は USB ケーブルを抜かないでください。
- 携帯電話接続中は、USB ケーブルを伸ばした状態で本機からなるべく離して置いてください。

基本操作

■ MagicSync を使う

1 携帯電話が本機の MagicSync 機能に対応しているか確認する

別紙「本機の対応携帯電話機種一覧」の MagicSync の欄をご確認ください。

2 携帯電話の「USB モード設定」をデータ通信モードにする

設定方法はお持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の「携帯設定」を設定する

①メニューを表示して「設定」-「共通設定」-「MagicSync」-「携帯設定」を選び、[決定] を押す

② (▲▼◀▶ 決定) オート(お買い上げ時の設定)/NTTドコモ /au/SoftBank/NTT moperaU から選び、[決定] を押す *[1]

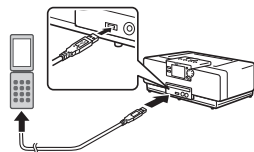
[メニュー] を 2 秒押しつづけると再生画面に戻ります。

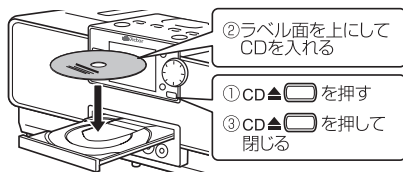
*[1] 2012 年 3 月 31 日をもって、NTT ドコモ社のインターネットサービス「mopera」のサービスが終了いたしました。これにともない 2012 年 4 月以降、NTT ドコモ社の携帯電話にてMagicSync機能をご利用になる場合は、別途同社の提供する「moperaU」にご契約のうえ「オート」または「NTT moperaU」を選んでください。ご利用料金については 22 ページをご覧ください。

- 接続する携帯電話のメーカーに設定すると、接続時間が早くなります。
- オートに設定すると、NTTドコモ /au/SoftBank の携帯電話との接続が可能になります。

4 携帯電話を USB ケーブル(市販品)で接続する

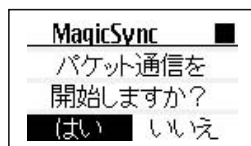
表示窓に MagicSync が点灯します。

点灯していないときは、携帯電話の設定と接続を確認してください。

まず、使ってみよう（つづき）

5 CD を入れる

6 ソース（音源）を切り換える

①［CD］を押す

7 [MagicSync] を押す

8 確認画面で「はい」を選び、[決定] を押す

検索結果画面が表示されます。

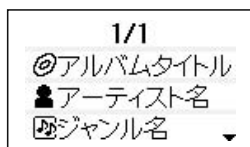
お知らせ

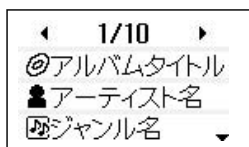
検索結果が表示されたら、携帯電話の接続をはずしても構いません。

［MagicSync］を押してから検索結果が表示されるまでは接続した携帯電話をはずさないでください。

9 検索結果を確認し、［決定］を押す

■ 検索結果が 1 つの場合：

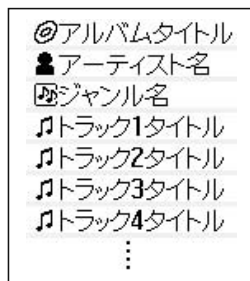
内容を確認して［決定］を押す

■ 検索結果が複数ある場合：

複数の候補の中から 1 つを選び、［決定］を押す

情報入りの CD 再生画面が表示されます。

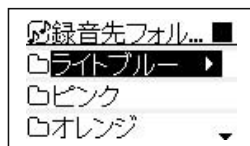
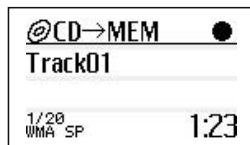
基本操作

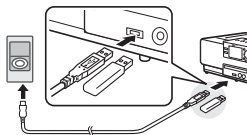
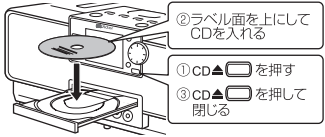
■ 検索結果画面の見かた

押すごとに上下にスクロールして曲情報を表示します。

アルバムタイトル
アーティスト名
ジャンル名
トラック1タイトル
トラック2タイトル
トラック3タイトル
トラック4タイトル
⋮

■ MagicSync した曲を録音する

1 本体の［メモリー録音］を押す

2 録音先のカラーフォルダを選び、［決定］を押す

3 本体の［メモリー録音］を押す
録音が始まります。

4 「録音が終了しました」と表示されたら、［決定］を押す

5 ［カラーフォルダ］をくり返し押して、録音先に選んだカラーフォルダを表示する
再生が始まります。
停止するときは、■ を押してください。

お知らせ

- 1 度読み込んだ曲情報は、最大 CD100 枚までメモリーに保存されます。1 度曲情報を取得した CD は、CD を入れると本機で曲情報を表示します。100 枚を越えたときは、一番古い情報から順に削除されます。
- MagicSync は、メモリーに録音した音楽ファイルに対しても実行できます。（➡ 63 ページ）
- CD をトレイに入れたときに、MagicSync ボタンを押さずに自動で MagicSync を起動することもできます。
  メニュー -「設定」-「共通設定」-「MagicSync」-「自動設定」-「ディスク挿入時」を表示し、「オン」を選んでください。

メモリー /USB 機器 /CD/ ラジオを聞く

- 各ソース（音源）ボタンを押すとソース（音源）が切り換わり、再生が始まります。ラジオは放送が始まります。
- 携帯電話を USB 接続して、携帯電話の曲を再生することはできません。
  オーディオケーブルで本機の LINE IN 端子へ接続して聞くことはできます。「外部機器をつないで聞く」（➡ 73 ページ）

■ **USB の接続について**

- USB ケーブル（市販品）を使って、本体前面の USB 端子とデジタルオーディオプレーヤーまたは USB フラッシュメモリーを接続します。（➡ 54 ページ「再生できる USB 機器について」）
  USB 機器を接続するときは、本機の電源を切ってから接続してください。
- USB 機器を接続したりはずしたりするときは、必ず本機の音量を最小にしておいてください。
- USB 機器をはずすときは、本機の動作が停止していることを確認してからはずしてください。再生中、録音中および編集中ははずさないでください。
- USB 機器は、本機に直接接続してください。ハブを使った接続はしないでください。
- USB 機器を接続するときは、USB 機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本機の電源が入っていて、スタンバイモードの設定が「表示オン」のときは、接続している USB 機器に電源が供給されます。（本機の電源が切れていてスタンバイモード設定が「表示オフ」のときは、接続している USB 機器は充電されません。）
- USB（ ⭠ ）端子はパソコンと接続できません。

■ **USB 機器の記憶について**

本機は、接続された USB 機器を 4 台まで自動的に記憶することができます。一度本機が記憶した USB 機器は、次に接続したときに短時間で読み込むことができます。
MTP で接続されている場合は記憶することができません。

お知らせ

- USB 機器をはじめて接続したときは、記憶するために、読み込みに時間がかかることがあります。ファイル数が多いほど時間がかかります。
- 次の場合は USB 機器を本機に接続したあと、以下の手順で本機の記憶内容を更新してください。
  - USB 機器を読み込み途中で外した場合
    読み込みが途中で中断されたため本機の記憶が途中までとなり、次に接続したときに USB 機器内にある全てのファイルが読み込まれず、曲数が正しく表示されません。
  - 本機が記憶した USB 機器に本機以外の機器でファイルの追加や削除を行なった場合

  ① ソース（音源）を USB にする。
  ② サブメニューを表示し「最新情報に更新」を選び、［決定］を押す。
  記憶内容の更新が始まります。ファイル数が多いほど、更新に時間がかかります。更新が終わるとサブメニューに戻ります。
- 本機が USB 機器を 4 台記憶しているときに、新しく別の USB 機器を接続すると、本機が記憶している 4 台のうち、最も古い 1 台に代わって、新しく接続された USB 機器が自動的に記憶されます。

基本操作

ソース(音源)	機能	操作
CD、メモリー、USB	頭出し（スキップ）	現在の曲の頭出し　：を押す 前の曲の頭出し　：を 2 回押す 次の曲の頭出し　：を押す
	早戻し・早送り	早戻し：を押しつづける 早送り：を押しつづける デジタルオーディオプレーヤーによっては操作できない場合もあります。
	停止	を押す
	グループスキップ（メモリー/USBのみ）	前のフォルダに戻る　：I<< を押す 次のフォルダへ進む　：>>I を押す
ラジオ	放送局の選局	マニュアル選局　：または をくり返し押す オート選局　：または を押しつづけ、周波数が変わり始めたら離す
全て	音量調節	0 ～ 35 の範囲で調節できます。 • リモコン　• 本体 音量 ＋（大）または－（小）を押す （大）＋ （小）－ 左右方向に回す
	数字の入力（選曲、プリセット選局）	「3」を選ぶ　：3 を押す。 「10」を選ぶ　：10 を押す。 「20」を選ぶ　：≧10→2→0 と押す。 「23」を選ぶ　：≧10→2→3 と押す。 「100」を選ぶ：≧10→≧10→1→0→0 と押す。 「123」を選ぶ：≧10→≧10→1→2→3 と押す。 「2465」を選ぶ：≧10→≧10→≧10→2→4→6→5と押す。

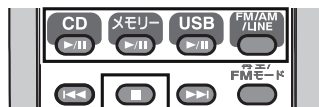
基本操作

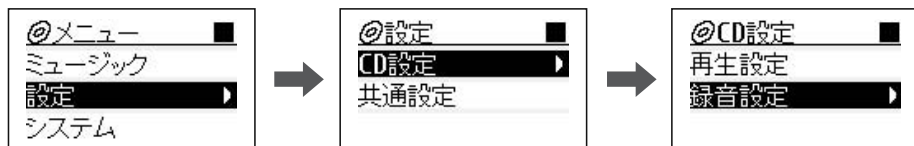
録音する

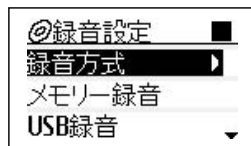
録音の準備をする

録音の設定をする

録音の圧縮方式（フォーマット）や品質などを設定します。各ソース（音源）の録音を行う前に、録音設定を行ってください。
• 録音設定は各ソース（音源）ごとに行います。

1 録音元のソース（音源）を選ぶ
■ CD、メモリー、USB 機器から録音する場合：
ソース（音源）ボタンを押すと再生が始まりますので、■ を押してください。

2 メニューを表示して「設定」-「(録音元ソース名) 設定」-「録音設定」を選び、[決定] を押す
ソース（音源）ごとの設定項目が表示されます。

例：録音元がＣＤのとき

3 設定したい項目と設定内容を選び、[決定] を押す
(➡「録音設定項目一覧」)

録音設定
録音方式
メモリー録音
USB録音

録音設定項目一覧

■ メモリー /USB 機器間で録音（移動）するとき（➡ 48 ページ）

★メモリー録音 / USB 録音	フォルダ作成	作成しない	録音先フォルダの中にフォルダを作成しない（録音先フォルダの中にファイルを直接保存）
		●アルバム	録音先フォルダの中に「アルバム名」フォルダを作成する
		アーティスト / アルバム	録音先フォルダの中に「アーティスト名」-「アルバム名」フォルダを作成する

LP（64kbps）のときは、約 50 倍速で録音（移動）します。

■ CD を録音するとき（➡ 40 ページ）

録音方式	デジタル高速 *	高速でデジタル録音します。（MP3 LP のとき約 4 倍）	
	●デジタル標準	通常の速さでデジタル録音します。	
	アナログ	通常の速さでアナログ録音します。（CD-R/CD-RW を録音するときは、これを選んでください。）	
★メモリー録音 / USB 録音	フォルダ作成	作成しない	録音先フォルダの中にフォルダを作成しない（録音先フォルダの中にファイルを直接保存）
		●アルバム	録音先フォルダの中に「アルバム名」フォルダを作成する
		アーティスト / アルバム	録音先フォルダの中に「アーティスト名」-「アルバム名」フォルダを作成する
	圧縮方式	MP3	
		●WMA	
	録音品質	HQ	WMA：128kbps、MP3：192kbps
		●SP	WMA：96kbps、MP3：128kbps
		LP	WMA：64kbps、MP3：64kbps

■ ラジオ（➡ 42 ページ）/LINE（➡ 45 ページ）からの音声を録音するとき

スナップショット（➡ 44 ページ）	オフ	スナップショットを録音しない	
	●オン	スナップショットを録音する	
トラックマーク（➡ 42 ページ）	（●：ラジオ）マニュアル	手動でトラックマークを付ける	
	タイム	5 分間隔でトラックマークを付ける	
	（●：LINE）オート	2.5 秒以上の無音が続いたときに、自動でトラックマークを付ける	
★メモリー録音 / USB 録音	フォルダ作成	オフ	録音先フォルダの中にフォルダを作成しない（録音先フォルダの中にファイルを直接保存）
		●オン	録音先フォルダの中にフォルダを作成する
	圧縮方式	MP3	
		●WMA	
	録音品質	HQ	WMA：128kbps、MP3：192kbps
		●SP	WMA：96kbps、MP3：128kbps
		LP	WMA：64kbps、MP3：64kbps

★ ：メモリーに録音するときは「メモリー録音」を選び、USB 機器に録音するときは「USB 録音」を選んでください。
★がない項目はメモリー録音、USB 録音の共通設定項目になります。

● ：お買い上げ時の設定

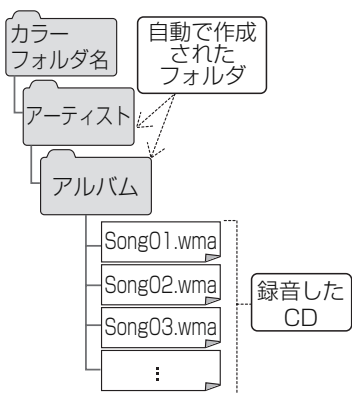
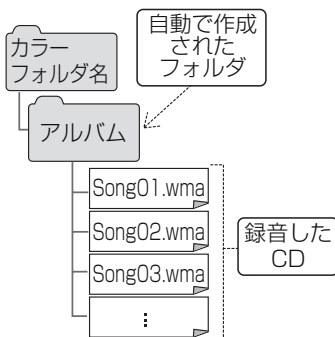
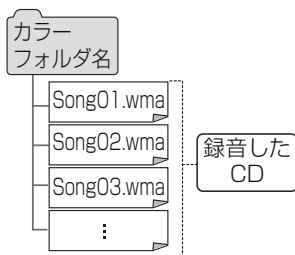
* CD からのデジタル高速録音は、著作権保護により、つづけて録音できません。
（➡ 97 ページ「高速録音に関して（HCMS）」）
CD のプログラム録音時は設定できません。
CD から USB へ録音する場合、録音品質が HQ のときは設定できません。
（MTP 接続機器は除く）
CD-R/RW から録音する場合は設定できません。
（➡ 97 ページ「SCMS (Serial Copy Management System)」）

■ 録音先フォルダについて

- **メモリーへの録音について**
  本機のメモリー内には、7つのカラーフォルダが用意されています。録音先フォルダはカラーフォルダから選んでください。カラーフォルダの中にフォルダがある場合は、そのフォルダを指定することができます。録音先を選ぶときは、前回選んだフォルダが表示されます。
  表示されたフォルダの1つ上のフォルダを表示するには［メニュー］を、表示されたフォルダの中を表示するには［決定］を押して録音先フォルダを選び直します。

- **USBへの録音について**
  USB機器に録音するときはカラーフォルダはありません。USB機器内に「Music」という名前のフォルダがない場合は、［USB録音］を最初に押したときに自動でUSB機器に「Music」フォルダを作成します。すでにある別のフォルダを録音先に選ぶこともできます。
  「Music」フォルダは本機で削除することもできます。（➡ 78ページ「削除する」）
  接続機器の取扱説明書をお読みください。

録音設定の「フォルダの作成」の設定で指定したフォルダに次のように録音されます。

【CD をメモリー /USB 機器に録音する場合】

- **フォルダ作成：「アーティスト / アルバム」**
- **フォルダ作成：「アルバム」**
- **フォルダ作成：「作成しない」**

曲情報あり	曲情報なし
・アーティストフォルダ：アーティスト名 ・アルバムフォルダ：アルバム名	・アーティストフォルダ：録音元ソース（音源）名（CD、FM、AM、LINE） ・アルバムフォルダ：Album001

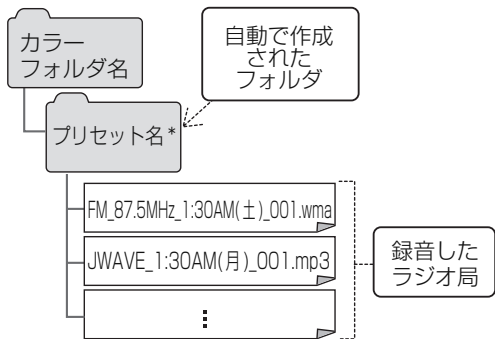
ご注意

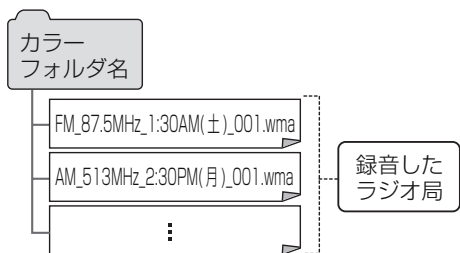
［メニュー］-「フォルダ」から録音する場合は、フォルダ作成の設定にかかわらず、フォルダ構造のまま録音（移動）されます。

■ 本機のフォルダ階層数制限について

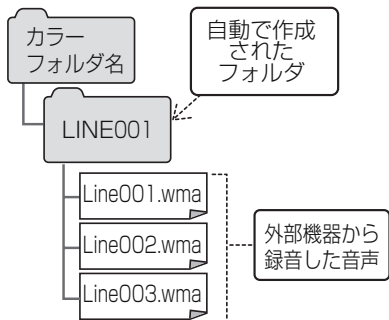
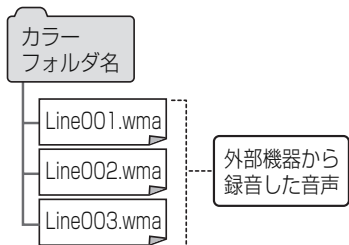
本機で表示できるフォルダの階層は最大 7 つです。
・1 フォルダに録音できるファイル数は最大 999 です。

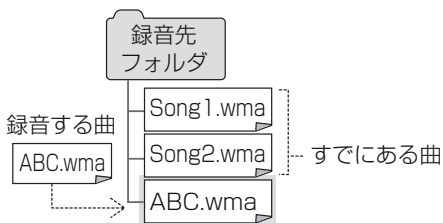
【ラジオ放送を録音する場合】

- フォルダ作成：「オン」

＊ プリセット名がないときは、「バンド名 _ 周波数」のフォルダが作成されます。

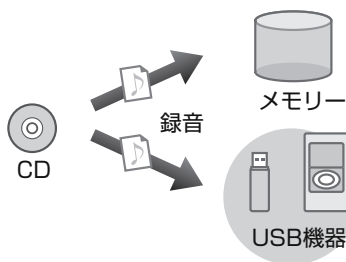
- フォルダ作成：「オフ」

時計を設定していないときは、時間と曜日はファイル名には入りません。

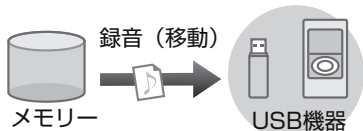
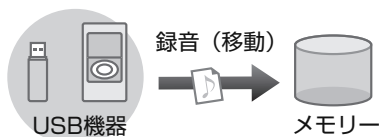
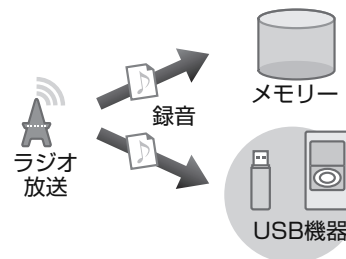
【外部機器を録音する場合】

- フォルダ作成：「オン」

- フォルダ作成：「オフ」

■ 録音したフォルダ、ファイルが挿入される位置について

- 録音ファイルは、録音先フォルダにすでにファイルがある場合は、すでにあるファイルの後ろに入ります。

- フォルダもファイルと同じく、すでにフォルダがある場合は、すでにあるフォルダの後ろに入ります。

  フォルダが同じ名前のときは、最初にあるフォルダの中にファイルだけ入ります。

■ ファイル名について

- 曲情報なし：Track001.wma, Track002.wma…
- 曲情報あり：タイトル名.wma, タイトル名.wma…

- 曲情報なし：001_Track001.wma, 002_Track002.wma…
- 曲情報あり：001_タイトル名.wma, 002_タイトル名.wma…

- 曲情報なし：001_ファイル名.wma, 002_ファイル名.wma…
- 曲情報あり：001_タイトル名.wma, 002_タイトル名.wma…

- 曲情報なし：ファイル名.wma, ファイル名.wma…
- 曲情報あり：タイトル名.wma, タイトル名.wma…

- プリセット名あり：プリセット名_時間曜日_001.wma
- プリセット名なし：バンド_周波数_時間曜日_001.wma

- プリセット名あり：001_プリセット名_時間曜日_001.wma
- プリセット名なし：001_バンド_周波数_時間曜日_001.wma

お知らせ

- 録音の圧縮方式をMP3にしているときは、「.wma」が「.mp3」となります。
- 「ファイル名」と記載しているところは、録音元と同じファイル名になります。
- 「ミュージック」メニューで表示される情報は、曲自体が持っているタイトル名、アルバム名、アーティスト名等の情報を示しています。

  「フォルダ」メニューでは、「ミュージック」メニューの曲名（タイトル名）をファイル名で表示します。

  「フォルダ」メニューで表示される情報は、本機の命名規則にそってつけられた情報を表示しています。そのため、「ミュージック」メニューで表示している曲の情報と、「フォルダ」メニューで表示している情報が異なる場合があります。アーティスト名の情報のない曲を録音した場合、自動作成されたアーティストのフォルダは、「フォルダ」メニューでは録音元のソース（音源）名を表示します。

  曲情報の詳細については、「曲の情報を見る」（➡ 65ページ）をご覧ください。

録音できる USB 機器について

お知らせ

- すべての機器について動作を保証するものではありません。
- 録音（移動）中は USB ケーブルを抜かないでください。

■ デジタルオーディオプレーヤー

MSC（USB マスストレージ規格）または MTP に対応し、Microsoft® Windows® Media Player で音楽ファイルを転送できるプレーヤー

- **日本ビクター製デジタルオーディオプレーヤー 対応機種**

種類	対応 USB 形式
XA-C210/110/51 XA-C109/59 XA-V80/40/20 XA-M40/20/10	MTP/MSC
XA-F/XA-E/XA-MP シリーズ XA-S208/108	MSC

■ USB フラッシュメモリー

USB マスストレージ規格に対応しているもの

ご注意

プロテクト機能付きの場合は、解除してから接続してください。

■ 携帯電話

- **対応機種**
  別紙「本機の対応携帯電話機種一覧」の録音の欄をご確認ください。

メモリーから携帯電話に音楽ファイルを録音（移動）するときは、携帯電話の「USB モード設定」を「MTP モード」に設定してください。
MagicSync 機能のときは「データ通信モード」で接続します。録音（移動）の場合と異なりますのでご注意ください。
携帯電話の使い方については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

- 携帯電話からメモリーに録音（移動）することはできません。メモリーから携帯電話に録音（移動）のみになります。

録音する

CD をメモリー /USB 機器に録音する

音楽 CD をメモリーまたは USB 機器に録音します。
USB 機器に録音する場合は、あらかじめ USB 機器を本体に接続してください。
録音する前に、CD の録音設定を行ってください。(➡ 34 ページ「録音の設定をする」)

ご注意

- プログラムモードで高速録音はできません。録音方式を「デジタル標準」に設定してください。(➡ 34 ページ「録音の設定をする」手順 3)
- ランダム再生中は、1 曲録音になります。(停止中はランダム設定になっていると録音できません。)

1 CD を入れる(➡ 32 ページ)

2 [CD] を押す

3 録音する曲の単位に応じて、次の操作を行う

全曲録音する

■ を押す
手順 4 へ進んでください。

再生中の曲を 1 曲だけ録音する

曲を選んで再生し、手順 4 へ進んでください。

曲を選んで録音する

① ■ を押す

② メニューから、「ミュージック」-「トラック」を選び、[決定] を押す

③ トラックリストから録音したい曲を選び、[セット] を押す
「プログラムに登録しました　No. ×」と表示されます。No. ×はプログラムの登録番号です。

④ [再生 /FM モード] をくり返し押して表示窓に「PRGM」を点灯させる

⑤ [メニュー] を2秒押しつづけて再生画面にする

手順 4 へ進んでください。

4 録音ボタンを押す

■ メモリーに録音する場合：
本体の [メモリー録音] を押す

■ USB 機器に録音する場合：
本体の [USB 録音] を押す

- USB 機器が MTP で接続されているときは、この時点で録音が始まります。

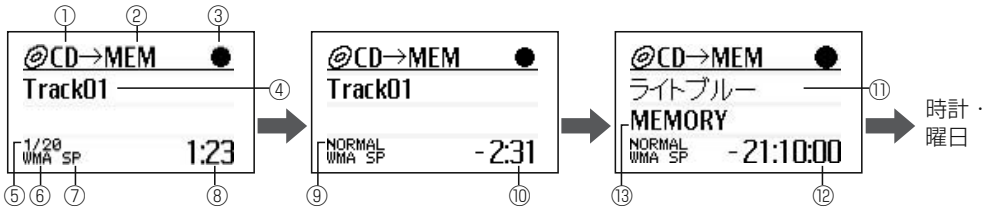
5 録音先フォルダを選ぶ（➡ 36 ページ）

6 録音ボタンを押す

■ メモリーに録音する場合　：本体の［メモリー録音］を押す
「携帯電話との接続を確認してください　はい　いいえ」が表示されたときは、◄ / ► で「いいえ」を選び、［決定］を押してください。
この表示を出さないようにするには メニュー -「共通設定」-「MagicSync」-「自動設定」-「録音開始時」と「ディスク挿入時」をそれぞれ「オフ」に設定してください。

■ USB 機器に録音する場合：本体の［USB 録音］を押す
録音が始まります。

- ［表示 / 文字］を押すごとに、次のように表示が切り換わります。

（例：メモリー録音時）

① * 録音元ソース（音源）名
② 録音先名
（MEM：メモリー、USB：USB 機器）
③ 動作アイコン
（●：録音中、■：停止、○：録音一時停止中）
④ 曲名
（曲情報がないときは、Track01、Track02…）
⑤ トラック番号 / トラック総数
⑥ 録音圧縮方式
⑦ 録音品質
⑧ 録音経過時間
⑨ 録音方式
⑩ 残り時間
⑪ 録音先フォルダ
⑫ 録音先の録音残り時間
⑬ 録音先名
（MEMORY：メモリー、USB：USB 機器）
* 1 曲録音の場合は「1TR」と表示します。

7 「データベース更新中」➡「録音が終了しました」と表示されたら、［決定］を押す

録音を途中で止めるときは、■ を押します。

■ 途中の曲から最後の曲まで録音するには

CD 停止中に ⏮ / ⏭ で録音したい曲を選び、手順 4 から操作してください。

■ USB 機器へ録音したときのファイル名について

- 録音先が USB 機器のときは、ファイル名の先頭に自動で 3 桁の管理番号を付けます。録音先フォルダにすでに 3 桁の数字で始まるファイル名がある場合は、その中で一番大きい数字につづけて番号を付けます。
- 管理番号は、次の手順でふり直すことができます。（フォルダメニューのときのみ）
  ① ソース（音源）を「USB」に切り換える
  ② メニュー -「フォルダ」から番号をふり直したいリストを表示する
  ③ サブメニューを表示する
  ④「トラック番号の更新」を選び、［決定］を押す
  録音先のファイル全てに 3 桁の管理番号がふり直されます。

録音する

ラジオを録音する

ラジオ放送をメモリーまたは USB 機器に録音します。
USB 機器にはさまざまな種類と仕様のものがあるため、録音時の動作を完全には保証することができません。
ラジオの音声を USB 機器に録音をする場合は、必ず一度メモリーに録音してから、USB 機器に録音（移動）してください。

- 録音する前に、FM または AM の録音設定を行ってください。
  （➡ 34 ページ「録音の設定をする」）

1 ［FM/AM/LINE］をくり返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ

2 放送局を選ぶ（➡ 33 ページ）

3 トラックマークを設定する

① メニューを表示して「設定」-「FM 設定」/「AM 設定」-「録音設定」-「トラックマーク」を選び、［決定］を押す

② 設定項目を選ぶ

- マニュアル：録音中に［セット］を押して手動で付ける（お買い上げ時の設定）
- タイム　　：5 分間隔で付ける
- オート　　：2.5 秒以上の無音が続いたとき、自動で付ける
  ［セット］を押してマニュアルでトラックマークを付けることもできます。

［メニュー］を 2 秒以上押しつづけると再生画面に戻ります。

お知らせ

トラックマークの間隔は 20 秒以上空けてください。トラックマークが付いてから 20 秒以内に［セット］を押すと「しばらくお待ちください」と表示されます。「オート」の場合も、間隔が 20 秒以内のときはトラックマークは付きません。

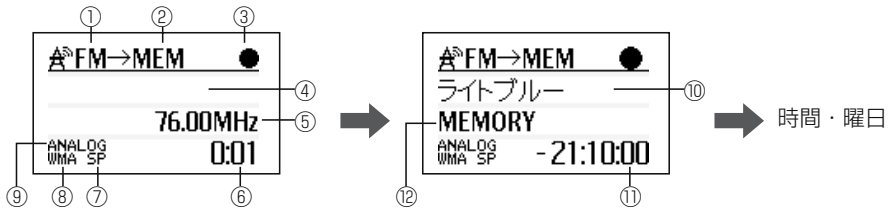
4 本体の［メモリー録音］を押す

録音する

5 録音先フォルダを選ぶ（➡ 36 ページ）

6 本体の［メモリー録音］を押す

録音が始まります。
- ［表示 / 文字］を押すごとに、次のように表示が切り換わります。

（例：メモリー録音時）

① 録音元ソース（音源）名
② 録音先名（MEM：メモリー）
③ 動作アイコン（●：録音中、■：停止、○：録音一時停止中）
④ プリセット名（プリセット選局をしていないときは、表示なし）
⑤ 周波数
⑥ 録音経過時間
⑦ 録音品質
⑧ 録音圧縮方式
⑨ 録音方式
⑩ 録音先フォルダ
⑪ 録音先の録音残り時間
⑫ 録音先名（MEMORY：メモリー）

7 ■ を押す

録音が停止します。
「データベース更新中」➡「録音が終了しました」と表示されます。
［決定］を押すと再生画面に戻ります。

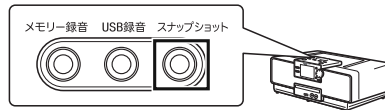
メモリーに録音したラジオの音声を USB 機器に録音（移動）するには

「メモリー /USB 機器間で録音する」（➡ 48 ページ）をご覧ください。

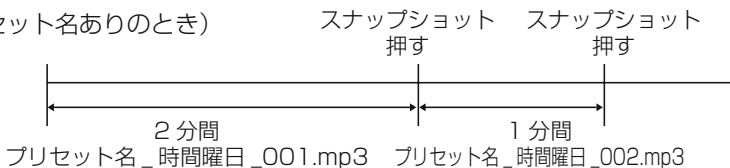
録音する

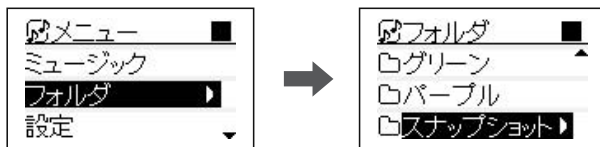
放送を 2 分前までさかのぼって録音する ースナップショットー

ボタンを押した時点からさかのぼって 2 分間分のラジオ放送をメモリーに録音します。

ラジオ放送を受信中に、[スナップショット] を押す

FM
スナップショット
フォルダに
保存しました

お知らせ

- スナップショットが「オフ」に設定されているときは、「SNAPSHOT」が出ません。
  スナップショットを「オフ」にするには、メニュー -「設定」-「FM 設定」/「AM 設定」-「録音設定」-「スナップショット」を表示して、「オフ」を選んでください。
- スナップショットはメモリーの メニュー -「フォルダ」-「スナップショット」フォルダに保存されます。
  録音先を選んだり、作成したフォルダに保存することはできません。
- ソース（音源）が LINE のときもスナップショット機能を使うことができます。
  LINE の場合もスナップショットフォルダに保存されます。
- 1 回目に [スナップショット] を押してから 2 分以上経過しないうちに 2 回目の [スナップショット] を押した場合は、1 回目に押した時間までしかさかのぼって録音できません。

■ 録音したスナップショットを聞くには

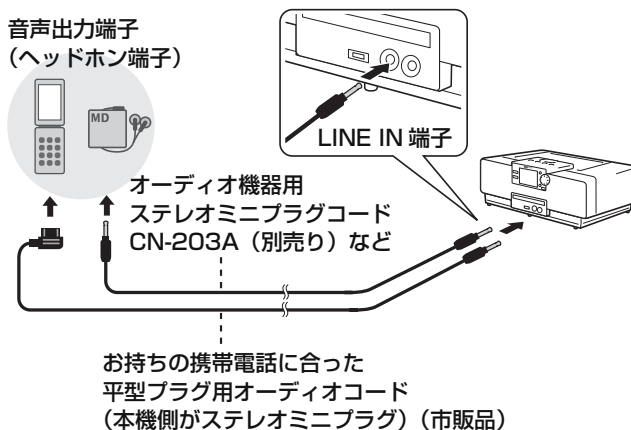
① ソース（音源）をメモリーにする
メニューを表示して「フォルダ」-「スナップショット」から録音したファイルを選び、再生します。

スナップショットのファイル名について：
プリセット名の登録あり / なしによって、次のようなファイル名になります。
- プリセット名あり：プリセット名 _ 時間曜日 _001.mp3
- プリセット名なし：バンド _ 周波数 _ 時間曜日 _001.mp3

スナップショットの圧縮方式と録音品質について：
録音設定にかかわらず、スナップショットのときは「圧縮方法：MP3」、「録音品質：SP」になります。

外部機器から録音する

MD プレーヤーやカセットプレーヤー、携帯電話などを接続して、メモリーまたは USB 機器に録音します。USB 機器にはさまざまな種類と仕様のものがあるため、録音時の動作を完全には保証することができません。外部機器の音声を USB 機器に録音をする場合は、必ず一度メモリーに録音してから、USB 機器に録音（移動）してください。

• 録音する前に、LINE の録音設定を行ってください。（➡ 34 ページ「録音の設定をする」）

1 外部機器を接続する

2 [FM/AM/LINE] をくり返し押して、「LINE」を選ぶ

3 トラックマークを設定する

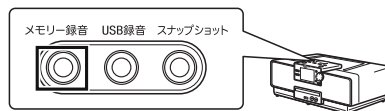
① メニューを表示して「設定」-「LINE 設定」-「録音設定」-「トラックマーク」を選び、[決定] を押す

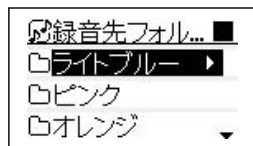
② 設定項目を選ぶ

• マニュアル：録音中に [セット] を押して手動で付ける
• タイム　　：5 分間隔で付ける
• オート　　：2.5 秒以上の無音が続いたとき、自動で付ける（お買い上げ時の設定）
[セット] を押してマニュアルでトラックマークを付けることもできます。

[メニュー] を 2 秒押しつづけると再生画面に戻ります。

お知らせ

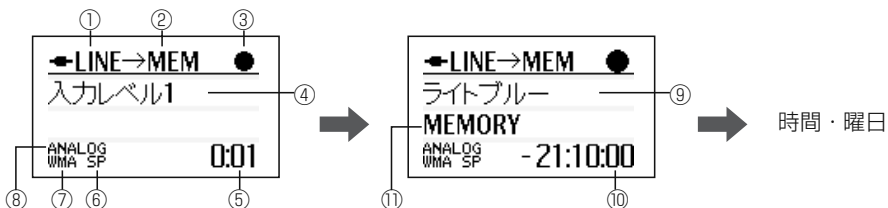
トラックマークの間隔は 20 秒以上空けてください。トラックマークが付いてから 20 秒以内に [セット] を押すと「しばらくお待ちください」と表示されます。「オート」の場合も、間隔が 20 秒以内のときはトラックマークは付きません。

4 本体の［メモリー録音］を押す

5 録音先フォルダを選ぶ（➡ 36 ページ）

6 本体の［メモリー録音］を押す

「しばらくお待ちください」の表示が消えて、録音経過時間“0:00”が点滅します。

7 外部機器を再生する

音声が入力されると、自動で録音が始まります。（サウンドシンクロ録音）

- ［表示 / 文字］を押すごとに、次のように表示が切り換わります。

① 録音元ソース（音源）名
② 録音先名（MEM：メモリー）
③ 動作アイコン（●：録音中、■：停止、○：録音一時停止中）
④ 入力レベル
⑤ 録音経過時間
⑥ 録音品質
⑦ 録音圧縮方式
⑧ 録音方式
⑨ 録音先フォルダ
⑩ 録音先の録音残り時間
⑪ 録音先名（MEMORY：メモリー）

ご注意

- 接続機器の音声が小さいと録音が開始できないことがあります。音量を確認し、入力レベルを調整してから録音してください。
- 接続機器の音声が小さいため、自動で録音がはじまらないときは、［メモリー録音］を押すと強制的に録音を開始することもできます。（無音が 30 秒以上続いた場合、または音声が小さくて本機が音声を検出できない場合は、録音は自動停止します。）
- 30 秒以上の無音が続いた場合は、録音が自動で停止します。

8 音声の再生が終わったら、外部機器側の再生を停止し、本機の ■ を押す

録音が停止します。
「データベース更新中」➡「録音が終了しました」と表示されます。
［決定］を押すと再生画面に戻ります。

メモリーに録音した外部機器の音声を USB 機器に録音（移動）するには

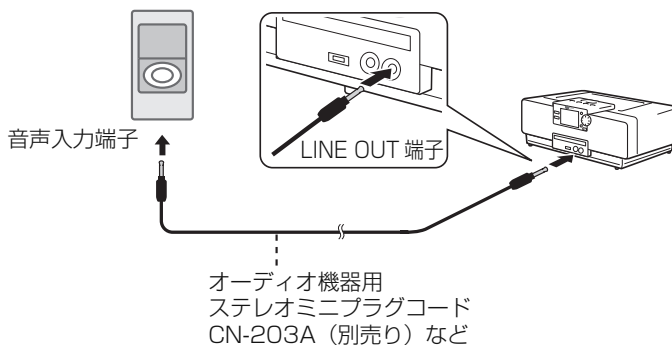
「メモリー /USB 機器間で録音する」（➡ 48 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 本機にマイクやレコードプレーヤーを直接接続することはできません。
  アンプ（市販品）を LINE IN 端子へ接続してから、それぞれの機器を接続してください。
  マイク　　　　　　　：マイクロフォンアンプまたはオーディオミキサー
  レコードプレーヤー　：フォノイコライザーアンプ

■ 本機の音声をデジタルオーディオプレーヤーや他のオーディオ機器に録音するときは

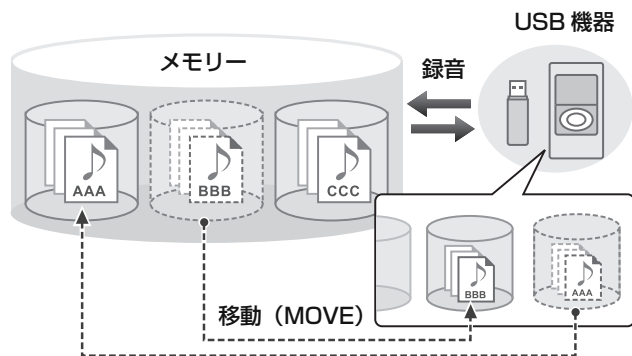
別売りのステレオミニプラグコードで本機の LINE OUT 端子と接続機器の音声入力端子を接続してください。

- LINE OUT 端子への接続

LINE IN から入力した音声は、LINE OUT 端子には出力されません。

メモリー /USB 機器間で録音する

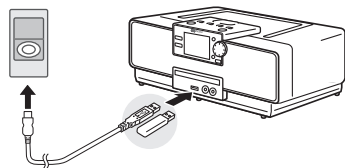
本機のメモリーに録音した曲を USB 機器に録音して持ち出したり、USB 機器内の曲をメモリーに録音したりできます。録音は曲（ファイル）の移動（MOVE）になり、録音元には曲（ファイル）は残りません。

- 録音する前に、メモリーまたは USB 機器の録音設定を行ってください。
  （➡ 34 ページ「録音の設定をする」）

メモリー /USB 機器間で録音する

お知らせ

USB 機器を本機に接続したときに表示窓に「MTP」と表示されたときは、「メモリーから携帯電話または MTP 接続機器に録音する」（➡ 51 ページ）の手順で録音してください。

ここでは MSC（マスストレージ）接続機器との録音について説明します。

1 USB 機器を本機の USB 端子に接続する

2 録音元のソース（音源）ボタンを押す

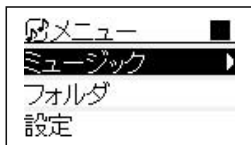
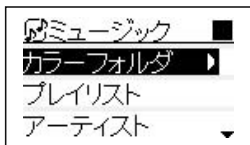
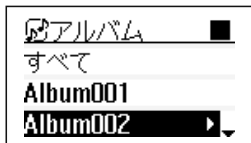
■ メモリーから USB 機器に録音する場合 ：［メモリー］を押す
■ USB 機器からメモリーに録音する場合 ：［USB］を押す

3 ● を押す

お知らせ

停止せずに USB 機器またはメモリーを再生したままで録音すると、再生中の曲のみを録音できます。

4 メニューから「ミュージック」を表示する

カラーフォルダ / プレイリスト / アーティスト / アルバム / ジャンル / トラックの中から録音したい曲やアルバムを選びます。

例：アルバムを選ぶとき　　例：曲を選ぶとき

- [メニュー] -「フォルダ」からフォルダ、ファイルを選んで録音（移動）できます。

5 録音ボタンを押す

■ **メモリーから USB 機器に録音する場合**：本体の［USB 録音］を押す
■ **USB 機器からメモリーに録音する場合**：本体の［メモリー録音］を押す
「MEM･USB 間の録音は移動になります」と表示されたら［決定］を押してください。

6 録音したい曲やアルバムを確認・変更する

手順４で選んだアルバムや曲にチェックマークが付いて表示されます。
表示中のリスト内のアルバムや曲であれば、追加や変更ができます。

① 決定 追加・変更したいアルバムや曲を選ぶ

② セット を押す
チェックマークが付いて録音対象になります。
もう一度押すと、チェックが外れて録音対象外になります。

Album002
☑Track001
☐Track002
☐Track003

③［決定］を押す

お知らせ

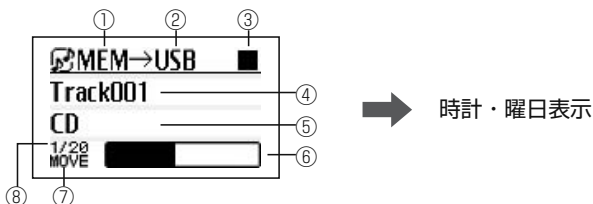
- プレイリスト / アーティスト / アルバム / ジャンルから選ぶ場合は、アーティスト名、アルバム名などにチェックマークを付けるとその下に含まれる曲が全て録音（移動）できます。
- カラーフォルダから選ぶ場合は、カラーフォルダ名を選択できません。カラーフォルダ内の曲を選択してください。
- 録音元のフォルダに再生対応形式以外のファイルが入っている場合は、録音元のフォルダは削除されません。

7 録音先フォルダを選ぶ（➡ 36 ページ）

8 録音ボタンを押す

■ USB 機器に録音する場合：本体の［USB 録音］を押す
■メモリーに録音する場合　：本体の［メモリー録音］を押す
録音が始まります。

- ［表示 / 文字］を押すごとに、次のように表示が切り換わります。

（例：USB 録音時）

① 録音元ソース（音源）名
② 録音先名（MEM：メモリー、USB：USB 機器）
③ 動作アイコン（■：停止）
　メモリー /USB 機器間の録音では、曲（ファイル）移動のため、録音中は■（停止）アイコンになります。
④ 曲名（曲情報がないときは、Track001、Track002…）
⑤ アーティスト名（曲情報がないときは、録音中のファイルの録音元ソース（音源）名）
⑥ 録音（移動）プログレスバー
⑦ MOVE（移動）表示
⑧ 録音中の曲番号 / 録音ファイル総数

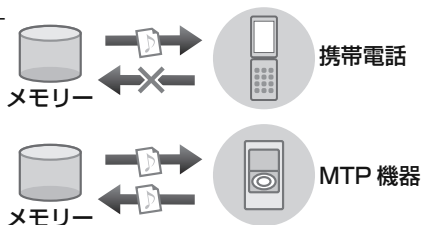
9 「移動が終了しました」と表示されたら、［決定］を押す

録音を途中で止めるときは、■ を押します。

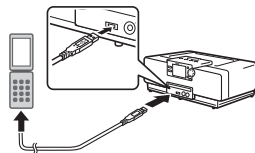
ご注意

- 「データベース更新中」と表示しているときは、絶対に接続機器を抜かないでください。録音ファイル総数によっては、データベースの更新に時間がかかる場合があります。
- 再生画面から録音（移動）するときは、再生中は 1 曲録音（移動）、停止中は画面の表示の曲から録音（移動）します。
- 録音（移動）のときに空フォルダが作成されることがあります。不要な場合は削除してください。（➡ 78 ページ）

メモリーから携帯電話または MTP 接続機器に録音する

本機のメモリー、携帯電話の録音（移動）はメモリーから携帯電話へのみになります。
「本機のメモリーにある曲を携帯電話に録音（移動）～ USB 端子に接続～」
（➡ 23 ページ）もお読みください。

お知らせ

- メモリーから携帯電話への録音（移動）は、WMA ファイルのみできます。
- USB 機器内の WMA-DRM ファイルは録音（移動）できません。
- USB 機器を MTP 接続して録音する場合は、「フォルダの作成」の設定とは関係なく、ご使用の機器が指定したフォルダの中にアーティスト、アルバムフォルダを作成して録音（移動）されます。

MSC：MSC で接続しています。
MTP：MTP で接続しています。

携帯電話のとき

1 携帯電話が本機の録音機能に対応しているか確認する
別紙「本機の対応携帯電話機種一覧」の録音の欄をご覧ください。

2 接続する携帯電話の「USB モード設定」を MTP モードにする
設定方法は、お持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

3 携帯電話を USB ケーブル（市販品）で接続する

4 ソース（音源）を切り換える
① ［メモリー］を押す
② ⏺ を押す

MTP 接続機器のとき

1 MTP 機器を本機の USB 端子に接続する

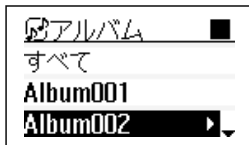
2 録音元のソース（音源）ボタンを押す

■ **メモリーから MTP 機器に録音するとき：**
［メモリー］を押す

■ **MTP 機器からメモリーに録音するとき：**
［USB］を押す

3 ⏺ を押す
手順 5 へ進んでください。

5 録音したい曲やアルバムを選ぶ

例：アルバムを選ぶとき

例：曲を選ぶとき

携帯電話のとき

6 本体の［USB 録音］を押す

「MEM・USB 間の録音は移動になります」と表示されたら、［決定］を押してください。

MTP 接続機器のとき

6 録音ボタンを押す

■ MTP 機器に録音するとき：
［USB 録音］を押す

■ メモリーに録音するとき：
［メモリー録音］を押す

「MEM・USB 間の録音は移動になります」と表示されたら、［決定］を押してください。

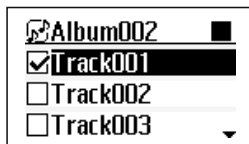
録音する

7 録音したい曲やアルバムを確認・変更する

手順 5 で選んだアルバムや曲にチェックマークが付いて表示されます。
表示中のリスト内のアルバムや曲であれば、追加や変更ができます。

① 決定 追加・変更したいアルバムや曲を選ぶ

② セット を押す

チェックマークが付いて録音対象になります。
もう一度押すと、チェックが外れて録音対象外になります。

③［決定］を押す
録音が始まります。

お知らせ

メモリーに録音するときは、フォルダ選択画面が表示されます。録音先フォルダを選んで［メモリー録音］を押すと録音が始まります。

8 「移動が終了しました」と表示されたら、［決定］を押す

再生する

再生できるディスクについて

ディスクの種類	説明
音楽 CD	CD-DA （「CD ロゴマーク」の有無やパッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠したディスクであることをお確かめください。）
CD-R/RW	音楽用 CD フォーマット

ご注意

- ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズ汚れ・結露などにより再生できないことがあります。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

【音楽 CD について】
- CD-DA 規格に準拠していないＣＤは動作の保証はできません。

【CD-R/RW について】
- パケットライト方式（UDF フォーマット）で記録されたＣＤは再生できません。
- ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
- CD-R/RW ディスクを使用されるときは、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- CD の記録フォーマットについては、お手持ちの CD-R/RW ドライブまたは記録用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

■ CD の取り扱いかた

- CD にテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプ CD（特殊形状の CD）は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

■ CD のお手入れ

ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ。

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどは絶対に使用しないでください。

メモリー /USB 機器で再生できるファイルについて

フォーマット	拡張子
MP3（8kbps ～ 320kbps、8kHz ～ 48kHz、VBR*1）	「.MP3」「.mp3」
WMA/WMA-DRM*2（8kbps ～ 320kbps、8kHz ～ 48kHz、VBR*1）	「.WMA」「.wma」
WAV*3（16bit、リニア PCM、8kHz ～ 48kHz/IMA-ADPCM）	「.WAV」「.wav」

*1 VBR：可変ビットレート

*2 WMA-DRM（著作権保護付き）は MTP 接続時のみ再生できます。WMA-DRM（著作権保護付き）を再生するには 55 ページをお読みください。

*3 WAV は MSC 接続時のみ再生できます。WAV ファイルを再生するには 55 ページをお読みください。

■ データ数の制限について

最大再生対応ファイル数　：5000
1 フォルダあたりの最大ファイル数　：999（メモリーのみ）
ファイルとフォルダの最大総数　：20000

お知らせ

- サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
- 本機は、MP3i および MP3 PRO ファイルには対応していません。
- WMA Lossless およびボイスには対応していません。

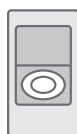
再生できる USB 機器について

■ USB フラッシュメモリー

USB マスストレージ規格に対応しているもの

■ デジタルオーディオプレーヤー

MSC（USB マスストレージ規格）または MTP に対応し、Microsoft® Windows® Media Player で音楽ファイルを転送できるプレイヤー

• 日本ビクター製デジタルオーディオプレーヤー 対応機種

種類	対応 USB 形式
XA-C210/110/51 XA-C109/59 XA-V80/40/20 XA-M40/20/10	MTP/MSC
XA-F/XA-E/XA-MP シリーズ XA-S208/108	MSC

他社製品の動作確認済みモデルについてはホームページ（http://www.jvc-victor.co.jp/support/qa.html）をご覧ください。

お知らせ

- Microsoft® Windows Media Player® 以外の楽曲管理ソフトで音楽ファイルを管理しているデジタルオーディオプレーヤー内の曲（ファイル）を本機に USB 接続して再生することはできません。本機の LINE IN 端子に接続して再生してください。
- すべての機器についての動作を保証するものではありません。
- 収録されているファイルが多いほど，本機の読み込み時間が長くかかります。

■ WAV ファイルを再生するには

下記の「本機の USB モードを変更する 」の手順で、本機の USB モードを「MSC（USB マスストレージ規格)」に変更してください。

WMA-DRM（著作権保護付き）ファイルのデジタル再生について

WMA-DRM（著作権保護付き）をデジタル再生するには、接続する USB 機器と接続される機器が両方デジタルメディアストリーミングに対応している必要があります。本機はデジタルメディアストリーミングに対応しています。

■ デジタルメディアストリーミング対応機種

日本ビクター製デジタルオーディオプレーヤー：XA-C210/110/51、XA-C109/59、XA-V80/40/20

XA-C109/59 については、ファームウェアを Ver.1.03.0641 以降にバージョンアップする必要があります。次のホームページの説明にしたがって、バージョンアップを行ってください。

http://www.jvc-victor.co.jp/download/dap/index.html

■ デジタルオーディオプレーヤーを接続して WMA-DRM ファイルを再生するには

本機とデジタルメディアストリーミング対応のデジタルオーディオプレーヤーを接続して WMA-DRM ファイルを再生するには、本機の USB モードを「オート」にする必要があります。「MSC（USB マスストレージ規格)」に設定されている場合は、下記の「本機の USB モードを変更する 」の手順で、本機の USB モードを「オート」に変更してください。

本機の USB モードを変更する

本機に USB 機器を接続中は、USB モードの切り換えはできません。「USB 接続中は変更できません」と表示されます。USB モードを切り換えるときは、USB 機器をはずしてから操作してください。

を 2 秒押しつづける

2 Magic Sync（USBモード） **をくり返し押して、「オート」または「MSC（USB マスストレージ規格)」を選ぶ**

押すごとに「MSC（USB マスストレージ規格)」と「オート」が切り換わります。

メニュー -「USB 設定」-「接続モード」からも設定できます。

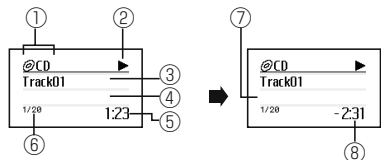
MSC：MSC で接続しています。
MTP：MTP で接続しています。

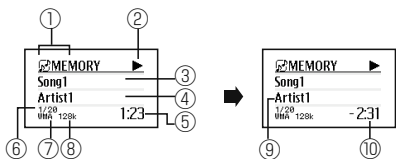
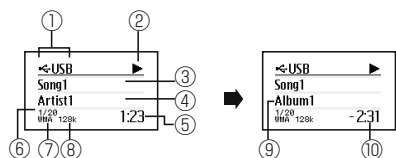
再生する

各ソース（音源）再生画面について

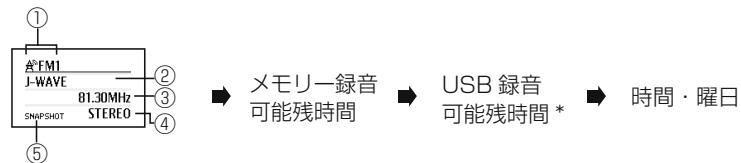
■ 表示の切り換えについて

［表示 / 文字］を押すごとに、時計表示のほか録音残量時間などに表示を切り換えることができます。

・CD

①ソース（音源）名
②動作アイコン（▶:再生、■:停止、II:一時停止）
③曲名（曲情報がないときは Track01、Track02・・・表示）
④アーティスト名（曲情報がないときは表示なし）
⑤再生経過時間（停止時：総再生時間）
⑥トラック番号 / トラック総数（停止時：トラック総数）
⑦アルバム名（曲情報がないときは表示なし）
⑧再生残り時間

・メモリー /USB

①ソース（音源）名
②動作アイコン（▶:再生、■:停止、II:一時停止）
③曲名（曲情報がないときは：Track001、Track002・・・表示）
④アーティスト名（曲情報がないときは録音元ソース名表示）
⑤再生経過時間（停止時：「0：00」表示）
⑥トラック番号 / トラック総数
⑦録音圧縮方式
⑧録音品質（ビットレート）（WAV ファイルのときは表示なし）
⑨アルバム名（曲情報がないときは Album001）
⑩再生残り時間

再生する

・ラジオ

①バンド（AM：AM 放送、FM：FM 放送）名、プリセット番号（マニュアル選局時：表示なし）
②放送局名（未設定時：プリセット番号）
③周波数
④FM モード
⑤スナップショット可能表示（設定オフ時：表示なし）

・LINE

①ソース（音源）表示
②入力レベル
③スナップショット可能表示（設定オフ時：表示なし）

* USB 機器を接続していないときは、録音可能時間は「-:- -」と表示されます。

CD を聞く

ここでは、CD を再生するときの表示画面やいろいろな聞きかたについて説明します。
基本的な再生方法や再生可能なディスクについては、次をご覧ください。

- CD を再生するには（➡ 32 ページ）
- 再生可能なディスクについて（➡ 53 ページ）
- CD の表示画面については、「各ソース（音源）再生画面について」（➡ 56 ページ）をご覧ください。

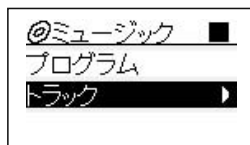
登録した曲を再生する（プログラム再生）

最大 32 曲まで登録して再生できます。

■ トラックリストからプログラム登録する

1 ソース（音源）を切り換えて、停止する

① ［CD］を押す
② ■ を押す

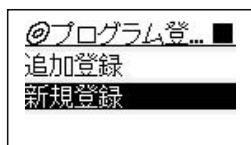
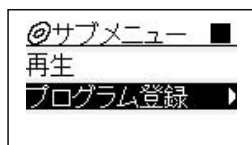
2 メニューから「ミュージック」-「トラック」を選び、［決定］を押す

3 トラックリストから登録したいトラックを ▲ / ▼ で選び、［セット］を押す

「プログラムに登録しました　No. ×」と表示されます。
No. ×はプログラムリストの登録された番号です。

4 手順 3 をくり返し、プログラムに登録したいトラックを追加する

■ サブメニューから複数の曲をまとめてプログラム登録する

上記の手順 2 のあとに…

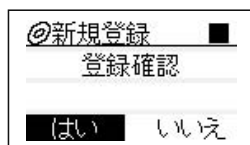
1 サブメニューを表示して「プログラム登録」-「新規登録」を選ぶ

「追加登録」を選ぶと、すでにあるプログラムリストに追加されます。

2 **登録したい曲を選び、[セット] を押す**

登録したい曲の数だけくり返します。チェックマークをはずすには、再度 [セット] を押します。

3 **[決定] を押す**

4 **「はい」を選び、[決定] を押す**

「プログラムに登録しました　　No.X」と表示されます。
(No.X はプログラムリストの登録された番号です。)

お知らせ

- 再生画面で [セット] を押して登録確認画面で「はい」を選んでもプログラム登録できます。
- 停止中にサブメニューからプログラム登録した曲は、アルファベット順にプログラム登録されます。プログラム登録した曲の順番を並べ替えるときは、「曲（ファイル）やフォルダを並べ替える」(➡ 83 ページ) をご覧ください。
- 再生画面で サブメニュー を表示して「プログラム登録」-「新規登録」または「追加登録」からもプログラムを登録することができます。

■ プログラム再生する

1 **■ を押して CD を停止させる**

2 **[再生 /FM モード] をくり返し押して、PRGM を表示する**

3 **[CD] を押す**

登録した順に再生が始まります。

お知らせ

- メニュー -「ミュージック」-「プログラム」を選び [決定] を押しても再生できます。
- 再生中は、プログラムモードに切り換えることはできません。

■ プログラムに曲を追加する

1 **停止中にメニューを表示して「ミュージック」-「トラック」を選び、［決定］を押す**
トラックリストが表示されます。

2 **プログラムに追加したい曲を選び、［セット］を押す**
「プログラムに登録しました　No. ×」と表示されます。

■ プログラム内容を確認する

1 **再生画面で［決定］を押す**
プログラムリストが表示されます。

■ プログラムモードを解除する

1 **停止中に［再生 /FM モード］をくり返し押して、PRGM 表示を消す**
・プログラムモードを解除しても、プログラム内容は削除されません。

■ プログラムを削除する

1 **停止中に再生画面で［決定］を押す**
プログラムリストが表示されます。

1 曲削除する

削除するトラックを選び、［キャンセル］を押す

全曲削除する

2 **［キャンセル］を押しつづける**
「表示する内容がありません」と表示されるまで押しつづけてください。

お知らせ

次の操作をしてもプログラムは全て削除されます。またプログラムモードも解除されます。

- CD を取り出す
- 電源を切る

メモリー /USB 機器を聞く

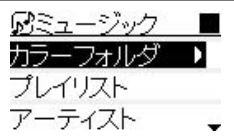
ここでは、メモリーおよび USB 機器をつないで再生するときの表示画面、聞きたい曲の探しかた、いろいろな聞きかたやプレイリストの使いかたなどについて説明します。
基本的な再生方法については、以下をご覧ください。

- メモリーを再生するには（➡ 32 ページ）
- USB 機器を再生するには（➡ 32 ページ）
- 各ソース（音源）の再生画面について（➡ 56 ページ）

カラーフォルダ、アルバム、アーティストなどのリストから曲を探す

メニューを表示して「ミュージック」を選び、[決定］を押す

表示したいリストを選び、[決定］を押す
音楽ファイルの曲情報に基づき分類された項目が表示されます。

ミュージック
カラーフォルダ
プレイリスト
アーティスト

リスト項目	表示と構成
カラーフォルダ *	色別（ライトブルー / ピンク / オレンジ / ブルー / イエロー / グリーン / パープル）フォルダを表示します。 「各カラーフォルダ」-「トラック名」
プレイリスト	ブックマークに登録済みの曲および作成済みのプレイリストを表示します。 「ブックマーク」-「トラック名」 「プレイリスト名」-「トラック名」
アーティスト	アーティストごとに表示します。 「アーティスト名」-「アルバム名」-「トラック名」
アルバム	アルバムごとに表示します。 「アルバム名」-「曲名」
ジャンル	ジャンルごとに表示します。 「ジャンル名」-「曲名」
トラック	すべてのトラックを名前順に表示します。

* メモリーのみ。USB のときは、USB 機器にあるフォルダとファイルを表示します。
ディマー機能（➡ 94 ページ）の設定が「モード 2」のときは、すべてのカラーフォルダとも表示色は暗いブルーになります。

再生したいファイルを選び、[決定］を押す

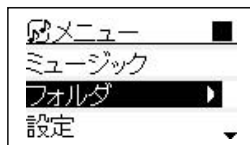
アーティスト、ジャンル、トラックはおおむねアルファベット順に再生されます。

アルバムは、トラック番号順に再生されます。また、カラーフォルダは録音順になります。

サブフォルダがある場合は、「サブフォルダを含むときの再生順序について」（➡ 63 ページ）をご覧ください。

フォルダから曲を探す

■ ファイルを選んで再生する

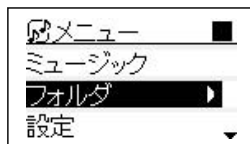
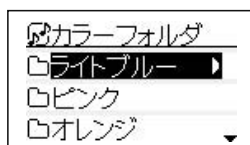
1 **メニューを表示して「フォルダ」を選び、[決定] を押す**

フォルダ *	表示と構成
カラーフォルダ	色別（ライトブルー / ピンク / オレンジ / ブルー / イエロー / グリーン / パープル）フォルダを表示します。 「各カラーフォルダ」-「トラック名」
スナップショット	スナップショットしたファイルを表示します。
タイマー録音	タイマー録音したファイルを表示します。 (➡ 86 ページ「再生 / 録音タイマーを使う」)

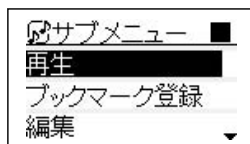
* メモリーのみ。USB のときは、USB 機器にあるフォルダとファイルを表示します。

2 **再生したいファイルを選び、[決定] を押す**

ライトブルー
Track001.wma
Track002.wma
Track003.wma

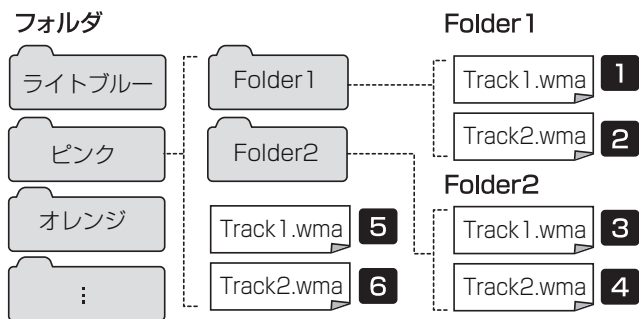
■ フォルダを再生する

1 **メニューを表示して「フォルダ」を選び、[決定] を押す**

2 **再生したいフォルダを選び、[決定] を押す**

3 サブメニュー **サブメニューを表示する**

4 **「再生」を選び、[決定] を押す**
フォルダに含まれる曲がすべて再生されます。

・ 🗀：フォルダアイコン、♫：ファイルアイコン

■ サブフォルダを含むときの再生順序について

選択したフォルダにサブフォルダが含まれている場合は、次のような順序で再生します。

（例：ピンクフォルダを再生する場合）

メモリーの曲情報を取得する — MagicSync —

本機と携帯電話を接続して MagicSync® を実行すると、インターネット上のサーバーに存在する曲情報の Gracenote データベースにアクセスして検索し、アルバム名、アーティスト名、曲名などの曲情報を取り込めます。アナログ音源から取り込んだ曲にも対応します。メモリーにある曲の情報を取得するときは、アルバム単位など複数の曲情報を取得することはできません。1 曲ずつ実行してください。

ご使用になる前に、「MagicSync を使って録音してみよう」（➡ 29 ページ）のご注意をお読みください。

1 携帯電話が本機の MagicSync 機能に対応しているか確認する

別紙「本機の対応携帯電話機種一覧」の MagicSync の欄をご確認ください。

2 携帯電話の「USB モード設定」をデータ通信モードにする

設定方法はお持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の「携帯設定」を設定する

①メニューを表示して「設定」-「共通設定」-「MagicSync」-「携帯設定」を選び、［決定］を押す

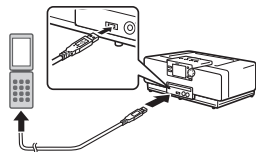
② 決定 オート（お買い上げ時の設定）/NTTドコモ /au/SoftBank/NTT moperaU から選び、［決定］を押す

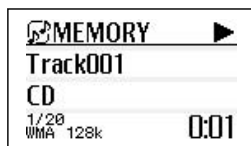
［メニュー］を 2 秒押しつづけると再生画面に戻ります。

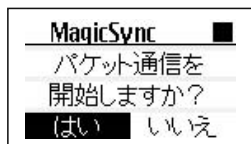
・接続する携帯電話のメーカーに設定すると、接続時間が早くなります。
・オートに設定すると、NTTドコモ /au/SoftBank の携帯電話との接続が可能になります。NTT moperaU の場合はオートに含まれておりません。
・NTT moperaU でも moperaU 対応機種以外の機種では NTT ドコモを選ぶと接続料金はかかりません。

4 携帯電話を USB ケーブル（市販品）で接続する

表示窓に MagicSync が点灯します。

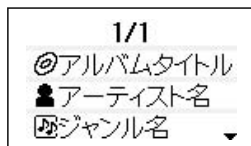
点灯していないときは、携帯電話の設定と接続を確認してください。

情報を取得したい曲を選び、[決定] を押す

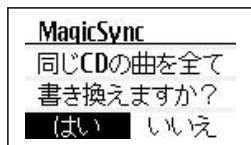
再生画面が表示され、再生が始まります。

6 [MagicSync] を押す

確認画面で「はい」を選び、[決定] を押す

検索結果が表示されます。

MagicSync が点滅しているときは、メモリー内の曲情報を解析中です。

内容を確認して [決定] を押す

1/1
アルバムタイトル
アーティスト名
ジャンル名

CD からメモリーに録音した曲のときは右の画面が表示されます。
情報取得した曲と本機にある曲のアルバム名など、CD 情報が共通してある場合に最大１００曲まで関連した曲の情報も取得します。

MagicSync
同じCDの曲を全て
書き換えますか？
はい　いいえ

「はい」または「いいえ」を選び、[決定] を押す

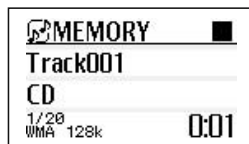
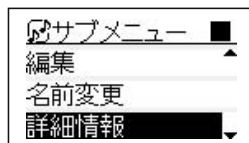
- 「はい」を選ぶと「タイトル情報を更新中です」と表示され、関連した曲情報を取得します。
- 「いいえ」を選ぶと１曲のみの情報取得になります。

お知らせ

- 書き換え中は時間がかかる場合があります。途中でやめたいときは [キャンセル] を押してください。
- 取得した曲情報を確認するには、次の「曲の情報を見る」をご覧ください。

曲の情報を見る

メモリー /USB 機器の曲のみ詳細情報を見ることができます。

情報を見たい曲を選ぶ

サブメニューを表示して「詳細情報」を選び、[決定] を押す

アイコン	表示内容
	曲名
	アーティスト名
	アルバム名
	ジャンル名
	リリース年
	ファイル名
	トラックナンバー
	ファイルの種類
	ビットレート
	再生時間
	ファイルのある場所

お好みの曲をブックマークに登録する

メモリーおよび接続した USB 機器内のお好みの曲を、ブックマークに登録できます。
ブックマークに登録した曲は、プレイリストに保存できます。

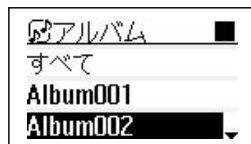
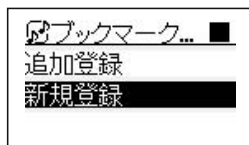
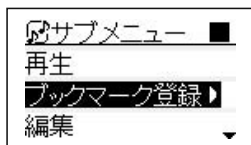
■ 曲を登録する

ブックマークに登録したい曲を選び、[セット] を押す

「ブックマークに登録しました」と表示され、再生画面に戻ります。

- 再生画面で [セット] を押した場合は、再生画面で表示されている曲が登録されます。
- ブックマークに登録された曲は表示窓に「BOOKMARK」が点灯します。

■ 複数の曲を選んで登録する

1. 「ミュージック」メニューの各リストからブックマークに登録したいリストを選ぶ

2. サブメニューを表示して「ブックマーク登録」-「新規登録」または「追加登録」を選び、［決定］を押す

3. **登録したい曲を選び、［セット］を押す**
登録したい曲の数だけくり返します。
チェックマークをはずすには、再度［セット］を押します。

4. **［決定］を押す**
確認画面が表示されます。

5. **「はい」を選び、［決定］を押す**

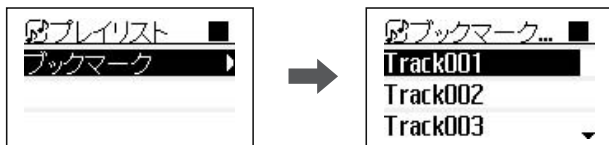
お知らせ

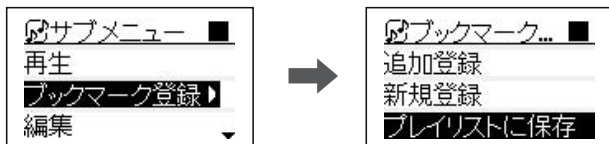
- ブックマークに登録済みの曲につづけて登録したい場合は、「追加登録」を選んでください。
- ブックマークに登録済み曲があるときに、「新規登録」を選ぶと登録済みの曲は削除されます。
- メモリーと USB の曲を組み合わせたブックマーク登録はできません。

プレイリストを使う

ブックマークに登録した曲を、プレイリストに保存してまとめて再生したりすることができます。

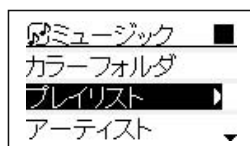
■ プレイリストに保存する

メニューを表示して「ミュージック」-「プレイリスト」-「ブックマーク」を選び、[決定] を押す

サブメニューを表示して「ブックマーク登録」-「プレイリストに保存」を選び、[決定] を押す

プレイリストを保存すると、
「ミュージック」-「プレイリスト」の中に作成順に「PLAYLIST001」「PLAYLIST002」「PLAYLIST003」…という名前で表示されます。

お知らせ

プレイリストは名前を変更することができます。(➡ 76 ページ「名前を変更する」)

ブックマーク、プレイリストを再生する

メニューを表示して「ミュージック」-「プレイリスト」を選び、[決定] を押す

ブックマークを再生する

「ブックマーク」を選び、[決定] を押す

ブックマークリストが表示されます。再度 [決定] を押すと再生が始まります。

プレイリストを再生する

再生したいプレイリストを選び、[決定] を押す

リストが表示されます。再度 [決定] を押すと再生が始まります。

いろいろな聞きかた

リピート再生する

曲をくり返し再生します。

1 停止中または再生中に［リピート］を押す

押すごとに、次のように切り換わります。

表示窓	項目名	内容
	1 曲	1 曲だけをくり返し再生します。
ALL	すべて	• 現在選択中のアーティスト / アルバム / ジャンルなどに含まれる全ての曲をくり返し再生します。 • CD の全曲をくり返し再生します。
A-B	A-B	選んだ再生区間の曲をくり返し再生します。 （メモリー /USB 機器のみ）
（表示なし）	オフ	リピート再生を解除します。

お知らせ

• メニュー -「設定」-「CD 設定」（「メモリー設定」/「USB 設定」）-「再生設定」-「リピート」からも設定できます。
• 電源を切るとリピート再生は解除されます。

再生する

■ A-B リピートの再生区間を設定するには

1 再生したい曲を選び、再生する

2 ［リピート］をくり返し押して、A を選ぶ

3 再生を開始したい場所で［セット］を押す

開始点 A が設定されます。

4 終了したい場所で［セット］を押す

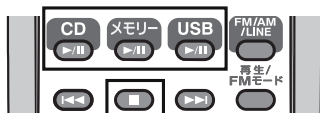
終了点 B が設定され、設定した区間がくり返し再生されます。

お知らせ

- A-B リピート区間を解除するには、もう一度［セット］を押します。
- A-B リピートを解除するには、［リピート］をくり返し押して表示を消します。
- A-B リピート再生中に ⏮ / ⏭ で曲をスキップすると、区間が解除されます。
- 開始点 A と終了点 B は、2 秒以上あけてください。
- 2 曲間で A-B リピートを設定することはできません。
- ソース（音源）が USB で、本機と USB 機器を MTP 接続しているときは、A-B リピートは設定できません。本機と USB 機器の接続モードを MSC にすると設定できます。
  （「本機の USB モードを変更する」➡ 55 ページ）

ランダム再生する

ランダム（無作為）な順序で再生することができます。

1 **ソース（音源）を切り換えて、停止する**
① ［CD］、［メモリー］または［USB］を押す
② ■ を押す

2 **[再生 /FM モード]をくり返し押して、表示窓に RND を表示する**

3 **［CD］、［メモリー］または［USB］を押して再生する**

お知らせ

- 現在再生中の曲がランダム再生の何番目の曲かは、再生画面のトラック番号表示部に表示されています。
- 停止中に［再生 /FM モード］をくり返し押して、RND 表示を消す、または電源を切るとランダム再生が解除されます。
- メニュー -「設定」-「CD 設定」（「メモリー設定」/「USB 設定」）-「再生設定」-「再生モード」-「ランダム」からも設定できます。

ラジオを聞く

FM または AM を受信します。
- ラジオ受信の基本操作について（➡ 32 ページ）
- 各ソース（音源）の再生画面について（➡ 56 ページ）

ラジオ局を登録する（プリセット）

FM を最大 30 局、AM を最大 15 局まで登録することができます。FM と AM は個別に登録します。

お知らせ

- 受信状態が悪いときは、スナップショットをオフに設定すると受信状態がよくなる場合もあります。
- 本機はテレビチャンネルの音声を受信することはできません。
- 本機は AM ステレオ放送には対応していません。

■ 自動で登録する（オートプリセット）

1 [FM/AM/LINE] をくり返し押して、「FM」または「AM」を選ぶ

2 [オートプリセット] を「オートプリセットを開始しますか？」と表示されるまで押す

3 「はい」を選び、[決定] を押す

選局が始まり、受信できる放送局の低い周波数から順番に登録されます。登録が終了すると、プリセット番号 1 に登録されたラジオ局が受信されます。

再生する

お知らせ

- オートプリセットを実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて削除されます。
- FM の場合、オートプリセットで選局できる範囲は、76.00MHz ～ 90.00MHz です。
- 雑音の多いラジオ局も登録されることがあります。このようなときは、マニュアルプリセットで選局し直してください。
- FM または AM にして メニュー -「オートプリセット」からも設定できます。

■ 手動で登録する（マニュアルプリセット）

1 プリセットしたいラジオ局を ⏮ / ⏭ で受信する

2 サブメニューを表示して「プリセット登録」を選び、[決定] を押す

プリセットチャンネルリストが表示されます。

3 登録したいプリセット番号を選び、[決定] を押す

登録したプリセット番号の受信画面になります。

■ プリセットしたラジオ局を選ぶ（プリセット選局）

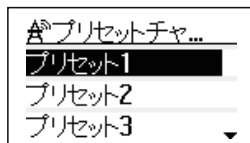
1 **FM または AM 受信中に、［数字ボタン］で聞きたいラジオ局のプリセット番号を押す**

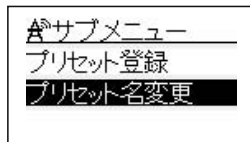
プリセットチャンネルから選ぶとき：
① ［決定］を押す
　プリセットチャンネルリストが表示されます。
② 決定 プリセット番号を選んで［決定］を押す

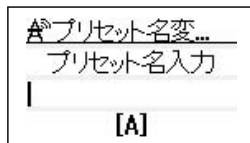
■ ラジオ局名を登録する

1 決定 **FM または AM 受信中に［決定］を押して、プリセットチャンネルリストから名前をつけるプリセット番号を選ぶ**

プリセットチャ...
プリセット1
プリセット2
プリセット3

2

サブメニューを表示して「プリセット名変更」を選び、［決定］を押す

サブメニュー
プリセット登録
プリセット名変更

3 **名前変更画面で局名を入力（➡ 77 ページ「文字入力のしかた」）し、［決定］を押す**

「変更しました」と表示されます。

お知らせ

- ラジオ局名を入力後、再度オートプリセットやマニュアルプリセットを行うと、局名は削除されます。
- オート選局やマニュアル選局で聞いているときは、ラジオ局名を入力できません。
- プリセットチャンネル受信中もサブメニューから名前を変更できます。

■ FM モードを切り換える

FM ステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、音声をモノラルにすると聞きやすくなることがあります。

［再生 /FM モード］を押すごとに次のように切り換わります。

設定	表示窓
●オート	STEREO（ステレオ放送受信時）
モノラル	MONO

●：お買い上げ時の設定

- プリセット登録すると FM モードも記憶されます。

再生する

外部機器をつないで聞く

本機と別売りの機器をオーディオケーブルでつないでカセットデッキや MD などの音を聞くことができます。

準備

- LINE IN 端子に外部機器をつなぎます（➡ 45 ページ）
- 各ソース（音源）の再生画面について（➡ 56 ページ）

1 ［FM/AM/LINE］をくり返し押して、「LINE」を選ぶ

右の画面が表示されます。

2 外部機器を再生する

詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

3 音量などを調節する（➡ 33 ページ）

■ 音声入力レベルを調節するには

つないだ機器側の出力レベルが大きい、または小さい場合は、本機の音声入力レベルを調整することができます。

1 メニューを表示して「設定」-「LINE 設定」-「入力レベル」を選び、［決定］を押す

2 適切なレベルを選び、［決定］を押す

レベル 1 ： レベル 2 で音声入力レベルが大きいときに選びます。
レベル 2 ： レベル 3 で音声入力レベルが大きいときに選びます。
レベル 3 ： 通常はこちらでご使用ください。（お買い上げ時の設定）

［メニュー］を2秒押しつづけると再生画面に戻ります。

お知らせ

ソース (音源) が LINE のときに［セット］を 2 秒押しつづけても、音声入力レベルを調節することができます。
押しつづけるごとに音声入力レベルが切り換わります。

音質を調整する

低音 / 高音を強調する

1 **［低音 / 高音］を押す**
押すごとに次のように切り換わります。

表示	操作
低音	5 秒以内に［音量（＋ / −)］を押す （− 5 ～＋ 5 の範囲で調節できます。5 秒後に元のソース（音源）の表示に戻ります。）
高音	
ソース（音源）の表示	

重低音を強調する（スーパーバス プロ）

スーパーバス プロをオンにすると、メリハリの効いた重低音が楽しめます。

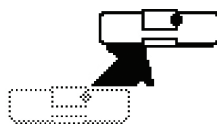
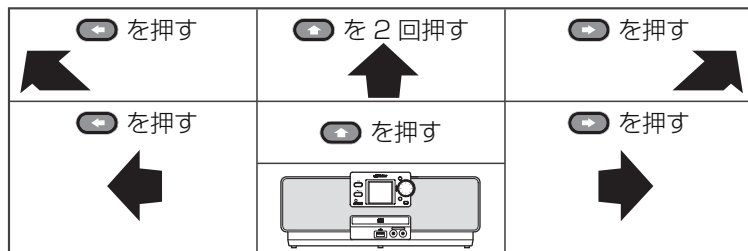
1 **［スーパーバスプロ］を押す**
押すごとに次のように切り換わります。

表示	設定	表示窓
●スーパーバスプロ　オン	重低音が強調されます	BASS
スーパーバスプロ　オフ	（通常の再生です）	（表示なし）

●：お買い上げ時の設定

音の向きを調節する（サウンドシューター）

音の向きを 6 方向に変えられます。これにより、本機の場所を移動しなくても、聞いている人の方向に向かって、音を届けることができます。

1 **［サウンドシューター］の矢印ボタンを押す**
表示窓に SOUND SHOOTER が表示されます。
押すごとに音の向きを変えられます。

サウンドシューターをオフにするには、 をくり返し押して SOUND SHOOTER を消してください。

音に広がりを持たせる（αサウンド）

1 **［αサウンド］を押す**
押すごとに次のように切り換わります。

表示	設定	表示窓
ナチュラル	音に自然な広がりを持たせます。	α SOUND
スムース	耳に快い音で再生します。	α SOUND
ディープ	音に深い広がりを持たせます。	α SOUND
●オフ	（お買い上げ時の設定）	（表示なし）

● ：お買い上げ時の設定

お知らせ

- αサウンドとサウンドシューターは、録音される音声に影響しません。
- αサウンドとサウンドシューターは、同時に設定することはできません。どちらかを設定すると、片方はオフになります。
- 再生するソース（音源）によっては、再生音に違和感を感じることがあります。このようなときは、別のモードを選ぶか、サウンドシューターをオフにしてください。

編集する

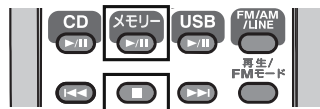
各種編集は［サブメニュー］を押してサブメニューから行ないます。
メニューとサブメニューの操作方法は、「メニュー／サブメニューを操作する」(➡ 25 ページ)をご覧ください。

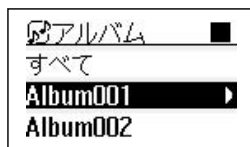
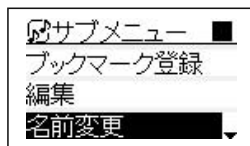
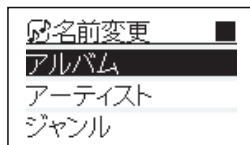
名前を変更する

カラーフォルダ名や曲情報など、次の項目名を変更できます。また、ラジオ局名も変更できます。

ソース（音源）	変更できる項目	備考
メモリー	カラーフォルダ名、フォルダ名、ファイル名、タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名	−
ラジオ（FM/AM）	ラジオ局名	ラジオ局名を登録するには（➡ 72 ページ）

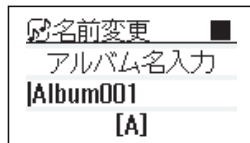
USB 機器内の名前を変更することはできません。
ここでは、アルバム名を変更する手順を説明します。

1 ソース（音源）を切り換えて、停止する
① ［メモリー］を押す
② ［■］を押す

2 メニューを表示して「ミュージック」-「アルバム」を選び、［決定］を押す
「アルバム」リストが表示されます。

3 名前を変えたいアルバムを選ぶ
右の画面のように「Album001」を反転させることで選択状態になります。

4 サブメニューを表示して「名前変更」を選び、［決定］を押す

5 「アルバム」を選び、［決定］を押す
「アーティスト」と「ジャンル」を選ぶこともできます。

6 名前を変更する

文字の入力については「文字入力のしかた」をご覧ください。

・途中でやめるときは ▢ を押す

名前変更
アルバム名入力
Album001
[A]

7 ［決定］を押す

名前が変更されます。

■ タイトル名、ファイル名を変更したいとき

タイトル、ファイル名は曲の名前変更でできます。

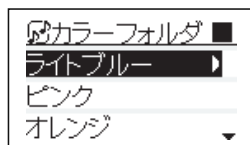
① 手順２で［決定］を押し、アルバムの中の曲を選ぶ
② 手順３で名前を変えたい曲を選ぶ
③ 手順４で「タイトル」または「ファイル」を選び［決定］を押す
　アルバム、アーティスト、ジャンルも変更することができます。

■ カラーフォルダ名を変更したいとき

メニューの「ミュージック」表示でのみカラーフォルダ名の変更ができます。

① 手順２で「ミュージック」-「カラーフォルダ」を選んで［決定］を押す。
② 名前を変えたいカラーフォルダを選んで手順４から操作する。
　・手順３で「最初の名前に戻す」を選ぶと、お買い上げ時のカラーフォルダ名に戻すことができます。

カラーフォルダ
ライトブルー
ピンク
オレンジ

▢ を押すと再生画面に戻ります。

文字入力のしかた

■ 入力位置を移動するには

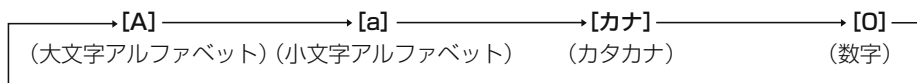
◀ / ▶ で入力位置を移動します。

■ 文字を削除または追加するには

全文字消去：［キャンセル］を文字が消えるまで押しつづける
１文字消去：消去したい文字の左側に ◀ / ▶ でカーソルを移動して［キャンセル］を押す
今ある名前に文字を追加する：▶ でカーソルを追加する場所まで移動して文字を入力する

■ 入力モード（カナ / 英文字 / 数字）を切り換えるには

［表示 / 文字］を押すごとに、次のように切り換わります。

編集する

■ 入力できる文字

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	■ファイル名 / フォルダ名 • 各種記号 ! # $ % & ’ ( ) + - . = @ ` _ • 空白スペース（□） ■曲情報（タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名） • 各種記号 ! " # $ % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ _ ` • 空白スペース（□）		1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテト	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
オートプリセット ワヲン 0	ワヲン “ ー	（なし）	（なし）	0

お知らせ

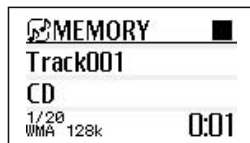
- 入力できる文字は半角です。全角文字は入力できません。
- 最大文字入力数は、128 文字です。
- 最大文字数（128 文字）を超える曲情報は、本機では表示 / 編集できません。曲情報を入力した機器などで編集してください。

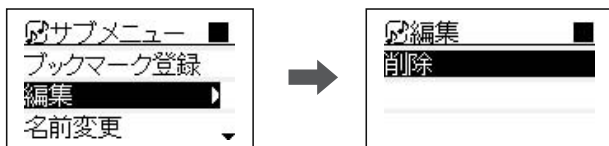
削除する

ソース（音源）	削除できる項目	お知らせ
メモリー / USB	フォルダ、曲（ファイル）、ブックマークの曲 *、プレイリスト *	メモリーの場合： カラーフォルダの中にあるフォルダ、ファイルは削除できますが、カラーフォルダは削除できません。

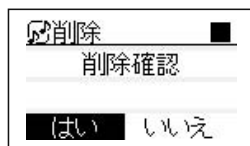
* プレイリスト、ブックマークの曲を削除しても、曲（ファイル）そのものは削除されません。

■ 曲（ファイル）を削除する

1 削除したい曲の再生画面を表示する

2 サブメニューを表示して「編集」-「削除」を選び、[決定] を押す

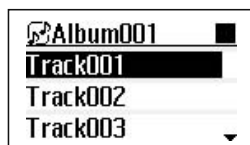
削除確認画面が表示されます。

途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

3 「はい」を選び、[決定] を押す

「削除中 」➡「削除しました」と表示されます。

■ 複数の曲を削除する

1 メニューを表示して「ミュージック」-「アルバム」を選び、[決定] を押す

2 Album001 を選び、[決定] を押す

「Album001」のリストが表示されます。

3 サブメニューを表示して「編集」-「削除」を選び、[決定] を押す

Track001 にチェックが入って表示されます。

4 一緒に削除したい曲を選び、[セット] を押す

チェックをはずすにはもう一度［セット］を押してください。

5 [決定] を押す

削除確認画面が表示されます。

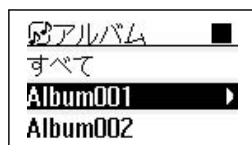
・途中でやめるときは［キャンセル］を押します。

編集する

「はい」を選び、[決定] を押す
「削除中 ▬▬ 」➡「削除しました」と表示されます。

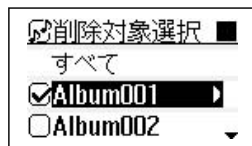
■ フォルダ、アルバムなどを削除する

例：Album001 を削除する場合

メニューを表示して「ミュージック」-「アルバム」を選び、[決定] を押す
「アルバム」リストが表示されます。

2 「Album001」を選ぶ

お知らせ

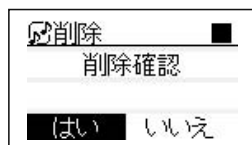
「Album001」を反転させることで選択状態になります。[決定] を押すと Album001 に含まれる曲のリストになってしまうため、アルバム削除ではなく、曲の削除になります。

サブメニューを表示して「編集」-「削除」を選び、[決定] を押す
削除対象選択画面で Album001 にチェックが入って表示されます。

お知らせ

- 「すべて」を選ぶと表示リストのすべてを削除します。
- リストから、別のアルバムも一緒に削除する場合は、▲/▼ で項目を選び、[セット] を押してください。
- チェックをはずすには、もう一度 [セット] を押してください。

編集する

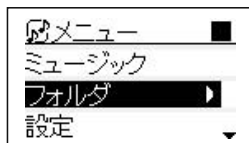
[決定] を押す
削除確認画面が表示されます。
• 途中でやめるときは [キャンセル] を押します。

「はい」を選び、[決定] を押す
「削除中 ▬▬ 」➡「削除しました」と表示されます。

フォルダを作る

メモリーまたは USB 機器内にフォルダを作成できます。フォルダ単位で曲（ファイル）を整理するときなどに便利です。

お知らせ

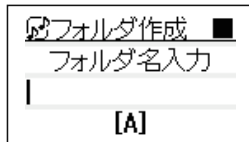
- 作成したフォルダに、別の曲（ファイル）やフォルダを移動できます。（➡ 82 ページ）
- カラーフォルダと同じ階層にフォルダは作成できません。
- 新しいフォルダは選んだフォルダの中に作成されます。
  USB 機器内にフォルダがない場合は、新しいフォルダを作ることはできません。メモリー内にフォルダを作る場合は、カラーフォルダまたはカラーフォルダの中にあるフォルダを選んでください。

1 メニューを表示して「フォルダ」を選び、［決定］を押す

2 フォルダを作成したいフォルダを選ぶ

お知らせ

作成するフォルダは、ここで選んだフォルダの中にできます。

3 サブメニューを表示して「編集」-「フォルダ作成」を選び、［決定］を押す

4 フォルダ名を入力する（➡ 77 ページ）

お知らせ

すでに同名のフォルダが作成されていたときは、別の名前を入力してください。

5 ［決定］を押す

フォルダが作成されます。
手順 2 の画面に戻り、［決定］を押すと作成したフォルダが表示されます。

移動する

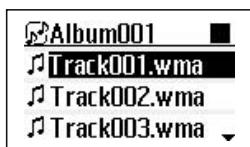
メモリー内の曲（ファイル）やフォルダを別のフォルダに移動することができます。

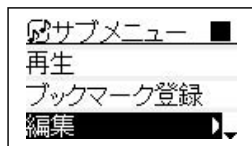
曲（ファイル）やフォルダを移動する

お知らせ

- メニューの「フォルダ」表示でのみ移動の操作ができます。
- カラーフォルダと同じ階層に曲（ファイル）やフォルダは移動できません。

1 **メニューを表示して、「フォルダ」内の移動したいファイルまたはフォルダを選ぶ**

（例：フォルダを選んだとき）

（例:ファイルを選んだとき）

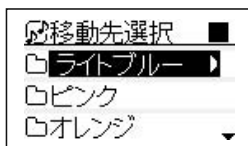
2 **サブメニューを表示して「編集」-「移動」を選び、［決定］を押す**

3 **移動したいファイルまたはアルバムを確認する**

手順 1 で選んだファイルまたはフォルダに、チェックが付いて表示されます。
表示してるリスト内のフォルダ、ファイルであれば追加や変更ができます。
▲ / ▼ で項目を選び、［セット］を押してください。
チェックをはずすには、もう一度［セット］を押してください。

例：アルバムを選択

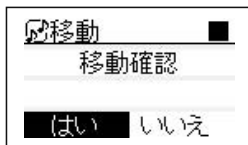
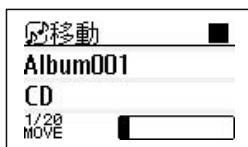
4 **［決定］を押す**

編集する

移動先のフォルダを選ぶ
カラーフォルダまたは、カラーフォルダの中のフォルダを選ぶことができます。

お知らせ

右の画面のように、「ライトブルー」を反転させることで選択状態になります。

6 [セット]を押す

移動
移動確認
はい いいえ

「はい」を選び、[決定]を押す
移動がはじまります。
「移動が終了しました」と表示されたら[決定]を押してください。

曲（ファイル）やフォルダを並べ替える

プレイリストやプログラムの曲を並べ替えることができます。

お知らせ

- メニューの「フォルダ」表示でのみ並び替えの操作ができます。
- 途中でやめるときは[キャンセル]を押します。

次の項目を並べ替えできます。

ソース（音源）		並び替えできる項目	備考
メモリー	ミュージック	プレイリスト内の曲	カラーフォルダは並べ替えることができません。ただし、カラーフォルダの中にあるフォルダは並び替えることができます。
	フォルダ	曲（ファイル）、フォルダ	
CD		プログラム登録した曲	−

1 CD のプログラムリストの場合：
メニューを表示して「ミュージック」-「プログラム」を選び、[決定]を押す
メモリーの場合：
メニューを表示して「フォルダ」から並び替えたいリストを表示する

サブメニューを表示して「編集」-「トラック並べ替え」または「フォルダ並べ替え」を選び、[決定]を押す

編集
削除
移動
トラック並べ替え

編集する

並べ替えたい項目を選び、［セット］を押す

お知らせ

- 複数選ぶ場合は、▲/▼で項目を選び、［セット］を押してください。
- チェックをはずすには、もう一度［セット］を押してください。

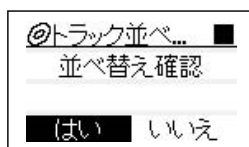
［決定］を押す

挿入位置を選び、［決定］を押す

6

「はい」を選び、［決定］を押す

項目が並べ替えられ、「変更しました」と表示されます。

編集する

時計・タイマーを使う

本機には、スリープタイマー、再生タイマー、録音タイマーの 3 種類のタイマーがあり、スリープタイマー 1 件、再生タイマーと録音タイマー合わせて 4 件を設定できます。

準備

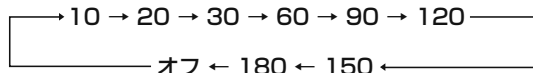
タイマーの設定をする前に時計を合わせておいてください（➡ 26 ページ）。

スリープタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。おやすみのときに便利です。

1 [スリープ］を押す

押すごとに、時間（単位：分）が次のように切り換わります。

→10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 180 → オフ

設定したい時間を表示させるだけで登録は完了です。

MEMORY
スリープ
60分

（例：スリープタイマーを 60 分にしたとき）

■ 設定した時間を変更するには

［スリープ］をくり返し押して時間を選び直します。

■ 設定した時間（残り時間）を確認するには

スリープタイマーが設定された状態で、［スリープ］を 1 回押します。

お知らせ

- スリープタイマーを設定すると、表示窓が暗くなります。
- メニュー -「設定」-「共通設定」-「スリープ」からも設定できます。

再生 / 録音タイマーを使う

指定した日時に自動的に電源が入り、CD やラジオの自動再生をしたり、ラジオ放送やLINE 接続した機器の音声をメモリーに録音できます。再生タイマー、録音タイマー合わせて最大 4 件まで設定できます。**タイマーは電源「切」のとき動作します。**

ご注意

- 録音タイマーの録音先はメモリーのみです。USB 機器を録音先に選ぶことはできません。
- 本機はタイマー開始時刻 3 分前に電源が入り「タイマー準備中」になります。このときに電源が入っていると、タイマーは動作しません。
- タイマーの設定は、タイマー開始時刻の 4 分以上前に完了してください。完了していないとタイマーは動作しません。
- 複数のタイマーを設定してオンにする場合は、先に動作するタイマーの終了時刻と後に動作するタイマーの開始時刻を、4 分以上空けて設定してください。4 分未満または重複しているときは、「他のタイマーとの間隔を 4 分以上あけてください」と表示されます。

お知らせ

- LINE 接続機器の音声を再生する場合は、タイマー機能付き機器を使用してください。
- 再生タイマーが開始されると、音量が徐々に大きくなり、設定した音量になります。
- 電源プラグをはずしたときや停電のときは、タイマーの項目内容は保持されますが、時計設定はお買い上げ時の状態に戻ります。時計とタイマーを設定し直してください。
- 本機の時計は月に 1 分程度ずれるため、ときどき時計を合わせ直してください。特に録音タイマーを設定する前は正確な時刻に合わせることをお勧めします。
- 録音タイマー動作中は音量が 0 に設定されます。音声を聞きたいときは音量を調節してください。
- 録音タイマーで設定できる録音時間は最大 23 時間 56 分です。

1 タイマーの準備をする

再生タイマー

① 再生したいソース（音源）を準備する

CD	CD を入れる
メモリー	ブックマークまたはプレイリストを登録しておく（➡ 65、67 ページ）
USB	USB 機器を接続し、ブックマークまたはプレイリストを登録しておく（➡ 65、67 ページ）
ラジオ	放送局をプリセットしておく（➡ 70 ページ）
LINE	LINE IN 端子（➡ 20 ページ）に再生機器を接続し、その機器の説明書に従う

録音タイマー

① 録音したいソース（音源）を準備する

ラジオ	放送局をプリセットしておく（➡ 70 ページ）
LINE	LINE IN 端子（➡ 20 ページ）に録音機器を接続し、その機器の説明書に従う

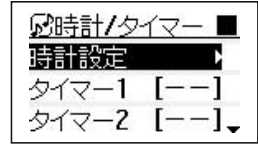
② 録音の設定をする

設定方法と設定項目については「録音の準備をする」➡ 34 ページをご覧ください。

- 途中でやめるときは［キャンセル］を押します。（設定内容は取り消されます）
- 1 つ前の手順に戻るときは［メニュー］を押します。

2 [時計 / タイマー] を押す

① 右の画面が表示されます。

② 「タイマー 1」～「タイマー 4」のいずれかを選び、[決定] を押す

3 「設定」を選び、[決定] を押す

4 設定したいタイマーを選び、[決定] を押す

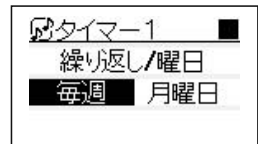
5 開始時刻と終了時刻を設定する

① 時刻を合わせる

② 決定する

時刻を合わせ直したいときは ◄ / ► を押して修正したい位置にカーソルを合わせます。

6 繰り返しを設定する

「毎週」または「1 回」を選び、[決定] を押す

7 曜日を設定する

① 選択する

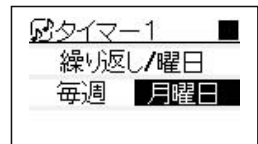
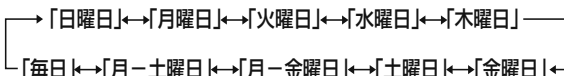
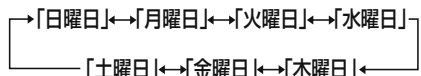
② 決定する

■ **毎週を選んだとき**

「日曜日」↔「月曜日」↔「火曜日」↔「水曜日」↔「木曜日」
「毎日」↔「月−土曜日」↔「月−金曜日」↔「土曜日」↔「金曜日」

■ **1 回を選んだとき**

「日曜日」↔「月曜日」↔「火曜日」↔「水曜日」
「土曜日」↔「金曜日」↔「木曜日」

▼

■ **再生タイマーを選んだ場合**：「再生タイマー」（➡ 88 ページ）へ進んでください。
■ **録音タイマーを選んだ場合**：「録音タイマー」（➡ 89 ページ）へ進んでください。

再生タイマー

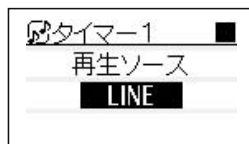
8 再生音量を設定する

音量（1 ～ 35）を選び、［決定］を押す

タイマー1
再生音量
01

9 再生ソースを選び、［決定］を押す

→「FM」↔「AM」↔「LINE」↔「MEMORY」↔「USB」↔「CD」←

「LINE」を選んだときは手順 11 へ進んでください。

10 選んだ再生ソースに応じて、次の操作を行う

■ FM または AM のとき

再生する放送局を選ぶ

プリセットチャンネル一覧から選び、［決定］を押す

■ MEMORY または USB のとき

再生プレイリスト / ブックマークを選ぶ

プレイリスト一覧またはブックマークから選び、［決定］を押す

お知らせ

- プレイリストがないときは、表示されません。
- ブックマークは登録されていなくても選ぶことができますが、登録されていないときは、メモリーまたは USB の [メニュー] -「ミュージック」-「トラック」にあるトラックリストからの順番（おおむねアルファベット順）で再生されます。

■ CD のとき

再生トラックを選ぶ

再生したいトラック番号（1 ～ 99）を選び、［決定］を押す

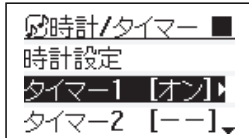
お知らせ

CD にないトラックを選んだときは、1 曲目から再生されます。

設定内容一覧が表示されます。

［決定］を押す

タイマーが設定され、⏻1（数字は該当するタイマー番号）が表示されます。

時計/タイマー ■
時計設定
タイマー1 ［オン］
タイマー2 ［－－］

（または本体の
）を押して電源を切る

録音タイマー

8 録音ソースを選び、［決定］を押す

「FM→MEM」↔「AM→MEM」↔「LINE→MEM」

タイマー1 ■
録音ソース
LINE→MEM

9 選んだ録音ソースに応じて、次の操作を行う

■ FM → MEM または AM → MEM のとき

録音放送局を選ぶ

プリセットチャンネル一覧から選び、［決定］を押す

■ LINE → MEM のとき

手順 10 へ進んでください。

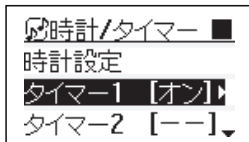
設定内容一覧が表示されます。

［決定］を押す

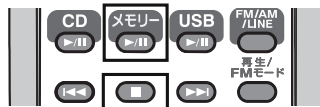
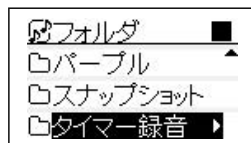
タイマーが設定され、⏻1REC(数字は該当するタイマー番号）が表示されます。

時計/タイマー ■
時計設定
タイマー1 ［オン］
タイマー2 ［－－］

（または本体の
）を押して電源を切る

時計・タイマーを使う

録音したファイルを再生するには

録音タイマーで録音したファイルは、メニューの「フォルダ」から再生します。

1 **ソース（音源）を切り換えて、停止する**
①［メモリー］を押す
② ■ を押す

2 **メニューを表示して「フォルダ」-「タイマー録音」を選び、［決定］を押す**

3 **録音元フォルダを選び、［決定］を押す**
- FM ：FM 放送の録音が表示されます。
  FM_ 周波数 _ 時間曜日 001.wma…
- AM ：AM 放送の録音が表示されます。
  AM_ 周波数 _ 時間曜日 001.wma…
- LINE ：外部機器からの録音が表示されます。
  Line001.wma, Line002.wma…

4 **再生したいファイルを選び、［決定］を押す**
再生が始まります。

再生 / 録音タイマーをオフにするには

1 [時計 / タイマー] を押す

2 オフにしたいタイマー番号を選び、[決定] を押す

3 「状態変更」を選び、[決定] を押す

4 「オフ」を選び、[決定] を押す

⏻1 または ⏻1REC が消えます。
[メニュー] を 2 秒押しつづけると再生画面に戻ります。

再生 / 録音タイマーの設定を確認するには

1 [時計 / タイマー] を押す

2 確認したいタイマー番号を選び、[決定] を押す

3 「確認」を選び、[決定] を押す

[メニュー] を 2 秒押しつづけると再生画面に戻ります。

再生 / 録音タイマーの設定を変更するには

1 [時計 / タイマー] を押して変更したいタイマーを選び、[決定] を押す

2 「設定」を選び、[決定] を押す

3 [決定] を押して変更したい項目へ進む

- 変更方法は各項目の操作をご覧ください。(➡ 88、89 ページ)

再生 / 録音タイマーの内容を全て消去するには

1 **［時計 / タイマー］を押す**

2 **設定内容を消去したいタイマーを選び、［キャンセル］を 2 秒押しつづける**

スヌーズ機能について

再生タイマー動作中に、一時的に消音することができます。再生タイマーを目覚ましタイマーとして使用するときの、寝過ごし防止にご利用ください。

■ スヌーズ機能を設定するには

1 **［スヌーズ］を押す**

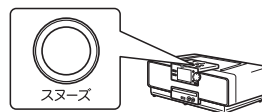
押すごとにオン / オフが切り換わります。

表示	設定	表示窓
スヌーズ　オン	スヌーズ機能を使えます	SNOOZE
●スヌーズ　オフ	スヌーズ機能を解除します	（表示なし）

● ：お買い上げ時の設定

■ スヌーズ機能を使うには

1 **再生タイマー動作中に本体の［スヌーズ］を押す**

消音し、5 分後にまた徐々に音が出ます。

お知らせ

- 再生タイマー動作中は何回でもスヌーズ機能が使えます。
- スヌーズ動作中は、ディマー「モード 2」の状態（➡ 94 ページ）になり、表示窓が暗いブルーになります。

設定を変える

表示窓の色や明るさをお好みで変えられるほか、CD の取り出しを制限したり、メモリーをお買い上げ時の状態に戻したりすることができます。
目的に合わせて、以下を参照してください。

- 表示窓の色や明るさを変えたい（➡「表示窓の表示を変える」）
- CD の取り出しをロックしたい（➡ 95 ページ）
- メモリーの空き容量や録音可能時間を知りたい（➡ 95 ページ）
- メモリーの内容をすべて消したい（➡ 96 ページ）

表示窓の表示を変える

ソース（音源）ごとに表示窓の色を設定したり、表示の明るさを調節したりできます。

表示色を変える

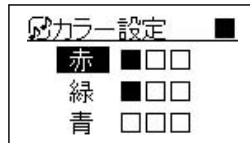
ディマー機能（➡ 94 ページ）の設定を「オフ」にしてから設定してください。

1 **［カラー］を押す**

2 **変えたい色（「赤」/「緑」/「青」）を選ぶ**

カラー設定 ■
赤 □□□
緑 ■□□
青 □□□

3 **色レベルを選ぶ**
■を３色全て消すことはできません。

カラー設定 ■
赤 ■□□
緑 ■□□
青 □□□

4 **手順 2 ～ 3 をくり返す**

5 **［カラー］を押す**
表示窓の色が設定されます。

お知らせ

表示色の見えかたは、本機の使用環境や使用期間により異なって見えることがあります。

明るさを変える（ディマー機能）

1 **［ディマー］を押す**
押すごとに、明るさが切り換わります。

設定	明るさ
モード 1	やや暗くなる
モード 2	すべてのソース（音源）で暗いブルーになる
●オフ	元の明るさに戻る

●：お買い上げ時の設定

お知らせ

- メニュー -「設定」-「共通設定」-「ディマー」からも明るさを変えられます。
- モード2の色は固定です。設定前の表示色に関係なく暗いブルーになります。

省電力設定をする（スタンバイモード）

省電力のために、スタンバイ時の表示窓の時計表示を消すことができます。

1 **メニューを表示して「設定」-「共通設定」-「スタンバイモード」を選び、［決定］を押す**

2 **「表示オフ」を選び、［決定］を押す**
［メニュー］を 2 秒押しつづけると再生画面に戻ります。

お知らせ

- 電源が切れているときに［ディマー］を押しても、スタンバイモードの設定ができます。
  押すごとに「表示オフ」と「表示オン」が切り換わります。「表示オン」にするときは、「表示オン」が表示されるまで（約 10 秒）押しつづけてください。
- 「表示オフ」に設定しているときは、接続している USB 機器は充電されません。
- 「表示オフ」に設定しているときは、電源を入れてから表示窓が表示するまでの時間が長くなります。

表示窓の表示の色合いを変える（コントラスト）

表示窓の表示の濃さをお好みに合わせて変更できます。

1 **メニューを表示して「設定」-「共通設定」-「コントラスト」を選び、［決定］を押す**

2 **お好みの色の濃さに調節し、［決定］を押す**
0 ～ 10 の範囲で調節できます。
［メニュー］を 2 秒押しつづけると再生画面に戻ります。

CD の取り出しをロックする（チャイルドロック）

CD を取り出せないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

メニューを表示して「設定」-「共通設定」-「チャイルドロック」を選び、［決定］を押す

2 「オン」を選び、［決定］を押す

■ チャイルドロックをオフにするには
上記の手順 2 で「オフ」を選び、［決定］を押します。

お知らせ

電源が切れているときに、本体の ■ を押しながら CD⏏ を押しても設定できます。スタンバイ時でスタンバイモードが「オフ」のときは、設定が表示されるまで（約 10 秒）押しつづけてください。

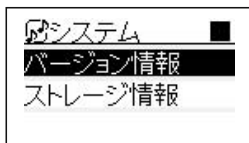
本機の情報を表示する

メモリーの空き容量や曲数、録音可能時間などを表示します。また、本機のファームウェアのバージョンについても確認できます。

メニューを表示して「システム」を選び、［決定］を押す

バージョン情報を見る

「バージョン情報」を選び、［決定］を押す
ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

システム
バージョン情報
ストレージ情報

ストレージ情報を見る

「ストレージ情報」を選び、［決定］を押す

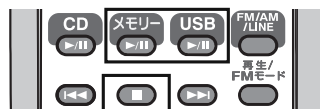
- **内蔵メモリーを見る場合：**
  「内蔵メモリー」を選び、［決定］を押します。

ストレージ情報
内蔵メモリー
USB

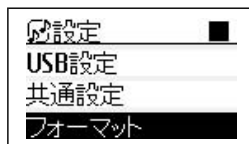
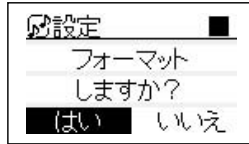
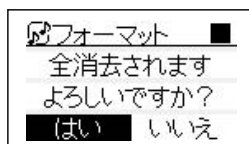
- **USB を見る場合：**
  「USB」を選び、［決定］を押します。

メモリー /USB 機器を初期化する（フォーマット）

メモリーまたは USB 機器内のデータをすべて消します。

1 **メモリーの場合**　：［メモリー］を押す
USB 機器の場合：［USB］を押す

2 **停止ボタンを押す**

メニューを表示して「設定」-「フォーマット」を選び、［決定］を押す

設定
USB設定
共通設定
フォーマット

4 **「はい」を選び、［決定］を押す**
「いいえ」を選ぶと 1 つ前の画面に戻ります。

5 **「はい」を選び、［決定］を押す**
メモリーまたは USB 機器の内容が、すべて消去されます。
「いいえ」を選ぶと、フォーマットせずに 1 つ前の画面に戻ります。

お知らせ

USB 機器をフォーマットすると、USB 機器に記録されている全てのデータが消去されます。

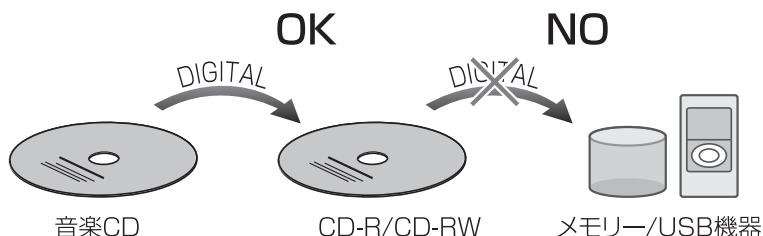
その他

制約について

高速録音に関して（HCMS）

メモリーおよび USB 接続した機器は標準を超えるスピードで録音（コピー）することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。本機では、CD から一度高速録音した曲は、その曲の録音開始から 74 分が経過しないと、その曲の二度目の高速録音はできません。
例えば、CD の 1 曲目を高速録音した場合、高速録音が開始してから 74 分間は、その CD の 1 曲目を再びメモリーまたは USB 接続した機器に高速で録音することはできません。
また、CD から高速録音をする場合、録音開始から 74 分以内に合計で 101 曲以上録音することはできません。100 曲までの録音をすることができます。

SCMS (Serial Copy Management System)（シリアル コピー マネージメント システム）

CD のクリアな音を他のデジタル機器（メモリー、USB など）にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりを SCMS（シリアル･コピー･マネージメントシステム）といいます。シリアル･コピー･マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは 1 世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

たとえば、この規定により一度デジタル録音された CD からは、メモリー、USB 機器へデジタル録音することはできません。
CD-R/CD-RW はアナログ信号に変換後、録音されます。

お知らせ

あなたがラジオ放送や CD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先

社団法人　私的録音補償金管理協会　　☎ 03-3261-3444（代）

商標と著作権について

- 本製品は曲情報の取得にトランステクノロジー㈱の MagicSync®、携帯電話によるデータ取得技術を使っています。MagicSync は携帯電話によるデータ取得技術の業界標準です。詳細は、トランステクノロジー㈱のホームページ www.transtechnology.co.jp をご覧ください。

- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。 Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。
- Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ：
  copyright © 2000-2010 Gracenote. Gracenote Software,
  copyright © 2000-2010 Gracenote.
  本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

搭載ソフトウェアに関する情報

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は､Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。
お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。
お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。
Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については､Web ページ上の､Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。
Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され､使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は､Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わな

いものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。**Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

McObject エンドユーザー使用許諾書

本機 RD-M8-S/-W/-P/-H には、McObject 社のデータベースソフト（以下本ソフトといいます）が搭載されています。本ソフトの使用条件等は以下のとおりです。

1. 著作権
本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、McObject LLC（"McObject"）またはそのライセンサーに帰属するものです。日本ビクター（以下弊社）は McObject とのライセンス契約に基づき本ソフトを配布する正当な権限を有しています。本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

2. 権利の許諾
お客様は、本契約の条項に従って、本機上でのみ本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

3. 制限事項
お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法で認められる場合はこの限りではありません。
お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合または適法で認められる場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

4. 非保証
本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、本ソフトの満足度、性能、正確性または成果（無過失を含みます）等、本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。また本ソフトによりお客様がお楽しみになっていることを妨げられたり、または侵害された場合も、一切の保証はありません。

5. 責任の制限
McObject、弊社および本ソフトの作成・提供に係ったいかなる者も、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する間接、特別または付随的損害（逸失利益を含みます）（損害発生につき McObject、弊社らが予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社、McObject およびそれらの役員、従業員ならびに代理人を免責し、保証するものとします。

6. 契約期間

本契約は、お客様によって本機上の本ソフトが使用開始された日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。
お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、万一、本契約が終了したときには、お客様は本ソフトの使用を中止しなければならず、さらには本機に組み込まれた本ソフトをお持ちになることはできません。

7. 輸出管理

お客様は、本ソフトに適用される輸出管理についてのあらゆる法令規則を遵守することに同意するものとします。

8. その他

(1) 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
(2) 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
(3) 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

メニュー / サブメニュー表示項目一覧

メニュー表示項目

■ MEMORY

メニュー					詳細（選択可能な項目）
ミュージック					
	カラーフォルダ				カラーフォルダ一覧（ライトブルー、ピンク、オレンジ、ブルー、イエロー、グリーン、パープル）
	プレイリスト	ブックマーク			ブックマーク / プレイリスト一覧
	アーティスト				メモリー内の曲のアーティスト一覧
	アルバム				メモリー内の曲のアルバム一覧
	ジャンル				メモリー内の曲のジャンル一覧
	トラック				メモリー内の曲の一覧
フォルダ					
	ライトブルー、ピンク、オレンジ、ブルー、イエロー、グリーン、パープル、スナップショット、タイマー録音				内蔵メモリー内のフォルダ一覧
設定					
	メモリー設定	再生設定	リピート		オフ、1 曲、すべて、A-B
			再生モード		ノーマル、ランダム
		録音設定	USB 録音	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定（作成しない、アルバム、アーティスト／アルバム）
	共通設定				➡「共通設定」（105 ページ）
	フォーマット				メモリーの初期化
システム					➡「システム」（105 ページ）

■ CD

メニュー					詳細（選択可能な項目）
ミュージック					
	プログラム				プログラム再生
	トラック				CD 内の曲の一覧
設定					
	CD 設定	再生設定	リピート		オフ、1 曲、すべて
			再生モード *		ノーマル、プログラム、ランダム
		録音設定	録音方式		デジタル高速、デジタル標準、アナログ
			メモリー録音（CD からメモリーに録音するときの設定）	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定(作成しない、アルバム、アーティスト／アルバム)
				圧縮方式	MP3、WMA
				録音品質	HQ、SP、LP
			USB 録音（CD から USB 機器に録音するときの設定）	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定(作成しない、アルバム、アーティスト／アルバム)
				圧縮方式	MP3、WMA
				録音品質	HQ、SP、LP
	共通設定				➡「共通設定」（105 ページ）
システム					➡「システム」（105 ページ）

* CD 再生中は設定できません。

■ USB

メニュー				詳細（選択可能な項目）
ミュージック				
プレイリスト	ブックマーク			ブックマーク / プレイリスト一覧
アーティスト				USB 機器内の曲のアーティスト一覧
アルバム				USB 機器内の曲のアルバム一覧
ジャンル				USB 機器内の曲のジャンル一覧
トラック				USB 機器内の曲の一覧
フォルダ				USB 機器内のフォルダの一覧
設定				
USB 設定	再生設定	リピート		オフ、1 曲、すべて、A-B
		再生モード		ノーマル、ランダム
	録音設定	メモリー録音	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定（作成しない、アルバム、アーティスト／アルバム）
	接続モード			USB 機器の接続モードの設定（オート、MSC）
共通設定				➡「共通設定」（105 ページ）
フォーマット				USB 機器を初期化
システム				➡「システム」（105 ページ）

■ ラジオ（FM）

メニュー				詳細（選択可能な項目）
プリセットチャンネル				プリセットしたチャンネルの一覧（1 ～ 30）
オートプリセット				放送局を自動的にプリセット
設定				
FM 設定	FM モード			FM ラジオの受信モードの設定（オート、モノラル）
	録音設定	スナップショット		スナップショットの設定（オン、オフ）
		トラックマーク		トラックマークの設定（マニュアル、タイム、オート）
		メモリー録音（FM からメモリーに録音するときの設定）	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定（オフ、オン）
			圧縮方式	MP3、WMA
			録音品質	HQ、SP、LP
		USB 録音（FM から USB 機器に録音するときの設定）	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定（オフ、オン）
			圧縮方式	MP3、WMA
			録音品質	HQ、SP、LP
共通設定				➡「共通設定」（105 ページ）
システム				➡「システム」（105 ページ）

■ ラジオ（AM）

メニュー				詳細（選択可能な項目）
プリセットチャンネル				プリセットしたチャンネルの一覧（1 ～ 15）
オートプリセット				放送局を自動的にプリセット
設定				
AM 設定	録音設定	スナップショット		スナップショットの設定（オン、オフ）
		トラックマーク		トラックマークの設定（マニュアル、タイム、オート）
		メモリー録音（AM からメモリーに録音するときの設定）	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定（オフ、オン）
			圧縮方式	MP3、WMA
			録音品質	HQ、SP、LP
		USB 録音（AM から USB 機器に録音するときの設定）	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定（オフ、オン）
			圧縮方式	MP3、WMA
			録音品質	HQ、SP、LP
共通設定				➡「共通設定」（105 ページ）
システム				➡「システム」（105 ページ）

■ LINE

メニュー				詳細（選択可能な項目）
設定				
LINE 設定	入力レベル			外部機器からの音声入力レベルの調節（1 ～ 3）
	録音設定	スナップショット		スナップショットの設定（オン、オフ）
		トラックマーク		トラックマークの設定（マニュアル、タイム、オート）
		メモリー録音（LINE からメモリーに録音するときの設定）	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定（オフ、オン）
			圧縮方式	MP3、WMA
			録音品質	HQ、SP、LP
		USB 録音（LINE から USB 機器に録音するときの設定）	フォルダ作成	自動で作るフォルダの設定（オフ、オン）
			圧縮方式	MP3、WMA
			録音品質	HQ、SP、LP
共通設定				➡「共通設定」（105 ページ）
システム				➡「システム」（105 ページ）

■ 共通設定

メニュー			詳細（選択可能な項目）
共通設定			
MagicSync	自動設定	ディスク挿入時	CD 挿入時に曲情報を取得（オフ、オン）
		録音開始時	録音開始時に曲情報を取得（オフ、オン）
	携帯設定		オート NTT ドコモ SoftBank au NTT moperaU
時計 / タイマー	時計設定		時計の設定（時刻合わせ、12/24 h）
	タイマー 1 〜 4		タイマーの設定
スリープ			スリープタイマーの設定 （オフ、10 分、20 分、30 分、60 分、90 分、120 分、150 分、180 分）
オートスタンバイ			オートスタンバイの設定（オフ、オン）
スタンバイモード			スタンバイ時の時計表示の設定 （表示オフ、表示オン）
コントラスト			表示窓の濃さの設定 （0 〜 10）
ディマー			表示窓の明るさの設定 （オフ、ディマー 1、ディマー 2）
チャイルドロック			CD を取り出せないようにする設定 （オフ、オン）

■ システム

メニュー		詳細（選択可能な項目）
システム		
バージョン情報		ファームウェアバージョン（メイン / サブ）
ストレージ情報	内蔵メモリー	総容量 / 空き容量 / 全楽曲集
	USB	

サブメニュー表示項目

■ CD

サブメニュー		詳細
再生		曲の再生
プログラム登録	追加登録	プログラムの追加登録
	新規登録	プログラムの新規登録
編集	削除	プログラムリストの削除
	トラック並べ替え	プログラムのトラックを並べ替え

■ MEMORY

サブメニュー		詳細
再生		曲、フォルダの再生
ブックマーク登録	追加登録	ブックマークの追加登録
	新規登録	ブックマークの新規登録
	プレイリストに保存	ブックマークリストからプレイリストを作成
編集	削除	曲、フォルダの削除
	移動	曲、フォルダの移動
	トラック並べ替え	曲の並べ替え
	フォルダ並べ替え	フォルダの並べ替え
	フォルダ作成	フォルダ作成
名前変更	ファイル	ファイル名の変更
	タイトル	タイトル名の変更
	アーティスト	アーティストの名の変更
	アルバム	アルバム名の変更
	ジャンル	ジャンル名の変更
	カラーフォルダ	カラーフォルダ名の変更
	プレイリスト	プレイリスト名の変更
	フォルダ	フォルダ名の変更
最初の名前に戻す	最初の名前に戻す	変更したカラーフォルダ名をお買い上げ時のカラーフォルダ名に戻す
詳細情報	表示	曲、フォルダの詳細情報を表示

■ USB

サブメニュー		詳細
再生		曲、フォルダの再生
ブックマーク登録	追加登録	ブックマークの追加登録
	新規登録	ブックマークの新規登録
	プレイリストに保存	ブックマークリストからプレイリストを作成
編集	削除	曲、フォルダの削除
	フォルダ作成	フォルダ作成
最新情報に更新		USB 機器を最新の情報に更新
トラック番号の更新		USB 機器内のトラック番号を更新
詳細情報	表示	曲、フォルダの詳細情報を表示

■ ラジオ（FM/AM）

サブメニュー	詳細
プリセット登録	プリセットの登録
プリセット名変更	プリセット名の変更

故障かな？と思ったら —修理に出す前にもう一度お確かめください—

	症状	原因	対処方法	参照ページ
共通	音が出ない。	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜いてください。	16
	ディスプレイの時刻と曜日表示が点滅している。	5 分以上電源コードが抜かれていた、または停電状態だった。	時計を設定し直してください。	26
録音	音が出ない。	メモリー /USB 機器間の録音（移動）をしている	メモリー /USB 機器間での録音（移動）は、高速録音です。 音は出さずに行います。	48
	高速録音できない。	高速録音できない条件で高速を選ぼうとしている	「録音設定項目一覧」（➡ 34 ページ）をご覧ください。	–
CD	演奏が始まらない。	CD が裏返しに入っている。	文字がある面を上にしてCD を入れ直してください。	28
		レンズに露がついている。	電源を入れたまま、乾くまで待ってください。 （約 1 ～ 2 時間）	–
	音飛びする。	CD にキズがある。	CD を交換してください。	–
ラジオ	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	アンテナが調整されていません。	アンテナを調整し直すか本機の設置場所を変えてください。	15、16
		AM ループアンテナ線が正しく接続されていない。	正しく接続してください。	15
MagicSync	曲情報を取得できない。	携帯電話が正しく接続されていない。	携帯電話を正しく接続し直してください。	29、63
		電波状態が悪い。	電波状態が良い場所に移動してください。	–
		曲情報がない。	曲名などを手動で入力してください。	76
USB	読み込みに時間がかかる。	USB 機器に本機で再生できないファイルが多数入っている。	本機で再生できないファイルを削除してください。	–
		初回の読み込みは時間がかる。	一度記憶した USB 機器は二度目以降の読み込みが早くなります。	32
	内容が正しく表示されない。	本機が USB 機器を正しく記憶できていない。	接続した USB 機器に対する本機の記憶内容を更新してください。	33

症状		原因	対処方法	参照ページ
タイマー	タイマーがスタートしない。	電源が「入」になっている。	電源を「切」にしてください。	24
		現在時刻と曜日が合っていない。	時計を設定し直してください。	26
		タイマー表示（⏻）とタイマー番号（1 ～ 4）が表示されていない。	タイマーを設定し直してください。	86
リモコン	リモコンが操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	新しい乾電池（単 3 形）に交換してください。	17
		リモコン受光部に、直射日光などの強い光が当たっている。	強い光の当たらない場所で操作してください。	－

■ **上記の対処を行っても正しく動作しないときは**

- 本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードをはずし、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

メッセージが表示されたときは

■ MagicSync 機能

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
携帯電話との接続を確認してください	MagicSync 実行時携帯電話が接続されていない	携帯電話を接続してください。	29、63
携帯電話が接続されていません	携帯電話が接続されていない	携帯電話を接続してください。	29、63
データ通信モードになっていません	MagicSync のときに携帯電話が MSC/MTP モードで接続されている	携帯電話の USB モード設定をデータ通信モードにしてください。	－
通信エラーが発生しました	携帯電話の通信にエラーが発生した	電波状況を確認して再度行ってください。	29、63
CD 情報の取得に失敗しました	その他のエラーが発生した	携帯電話を再接続して再度行ってください。	29
Track 情報の取得に失敗しました	その他のエラーが発生した	携帯電話を再接続して再度行ってください。	63

■ 携帯電話

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
データ通信モードでは録音できません	携帯電話がデータ通信モードになっている	携帯電話の USB モード設定を「MTP」にしてください。	－
転送できないトラックがありました	内蔵メモリーから携帯電話へ録音したファイルに MP3 が含まれていた	携帯電話へ MP3 ファイルの転送はできません。	－
この USB 機器はフォーマットできません	携帯電話をフォーマットしようとした	携帯電話でフォーマットしてください。	－
この USB 機器は USB → MEM 間の移動はできません	携帯電話を USB 接続してメモリーへ録音しようとした	携帯電話の音楽ファイルを録音するときは LINE IN 端子へ接続してください。	45
この USB 機器は本機では再生できません	携帯電話を USB 接続して再生しようとした	携帯電話の音楽ファイルを再生するときは LINE IN 端子へ接続してください。	45
この USB 機器は MP3 では録音できません	携帯電話に MP3 で録音しようとした	携帯電話への録音（移動）は MP3 は対応していません。WMA で録音（移動）してください。	34

■ システムエラー

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
SYS Error: □□ (□□：エラー番号)	システムに異常が発生している	フォーマットしてください。それでも問題が発生する場合は、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。	－

■ 共通（MagicSync、携帯電話、システムエラーを除く）

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
転送できないトラックがありました	WMA-DRM ファイルをメモリーへ録音しようとした	WMA-DRM ファイルは本機に録音できません。	－
この USB 機器はフォーマットできません	本機でフォーマットできない USB 機器のとき	接続機器でのフォーマット方法を確認してください。	－
この USB 機器は認識できません	本機に対応していない USB 機器を接続している	本機に対応している USB 機器を接続してください。	39、54
削除できないトラックがありました	WMA-DRM ファイルを削除しようとした	WMA-DRM ファイルは削除できません。削除したい場合は、フォーマットしてください。	96
ライセンスが切れています再生できません	ライセンス切れの WMA-DRM ファイルを再生しようとした	接続機器をパソコンで同期をとり、ライセンスを取得して再度本機に接続してください。	－

■ 共通（MagicSync、携帯電話、システムエラーを除く）（つづき）

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
著作権保護されたトラックは再生できません	USB モードが「MSC」のとき、または MSC 機器を接続しているときに著作権保護付き（WMA-DRM）の曲を再生しようとしている。または「USB デジタルメディアストリーミング」非対応の MTP 機器で著作権保護付き（WMA-DRM）の曲を再生しようとしている	「デジタルメディアストリーミング」対応の MTP 機器の場合、USB 接続モードをオートに切り換えてください。	55
MTP モードでは設定できません	USB モードが MTP のとき、AB リピートを設定しようとした	USB モードがＭＴＰのときは AB リピートは設定できません。	55
プロテクトされています	USB 機器にプロテクトがかかっている	USB 機器のプロテクト機能を解除してください。	
再生できません	本機で再生できないファイル、またはファイルが壊れている	この曲は再生できませんが、自動で次の曲へスキップします。	−
空き容量が足りません	メモリー /USB 機器の容量がいっぱいになったとき	不要な曲を削除して空き容量を増やしてください。	78
最大登録数を超えました	プレイリストの最大登録数（トラック数による）を超えた	プレイリストを削除してください。	78
トラック数が制限を超えました	トラックの総数が最大値（5000）を超えた、または録音時にフォルダ内のファイル数が 999 を超えた	トラックを削除してください。	−
データ数が制限を超えました	フォルダとファイルの総数が最大値（約 20000）を超えた	フォルダ、ファイルを削除してください。	78
録音できません	ファイルシステムに異常がある可能性があります。	電源を入れ直し、再度実行してください。再度、表示される場合はフォーマットしてください。	−
CANNOT RECORD. POWER OFF			
保存できません			
名前変更できません			
作成できません			
移動できません			
削除できません			
システム領域異常 フォーマットします	ファイルシステムが壊れている	再生順が変更されています。また、MagicSync で取得した曲情報が消去されています。	−
データ領域異常 フォーマットします		強制フォーマットになりますのでデータが全て消去されます。	
メモリー領域異常 フォーマットします			

メッセージ	意味	対処方法	参照ページ
同名が存在します	すでにある名前に変更しようとしている	まだ使用していない名前に変更してください。	76
データベースを再構築しました	データベースが壊れていたので、再構築を行った	再生順が変更されています。また、MagicSync で取得した曲情報が消去されています。	－
再生中は変更できません	・CD のとき：再生中に再生モードを変更しようとした ・メモリーのとき：メモリー再生中に編集しようとした	・停止してから再生モードを変更してください。 ・メモリー再生中は編集できません。停止してください。	33、59、69
SCMS エラー アナログで録音してください	著作権保護された CD-R/CD-RW をデジタル録音しようとした	アナログで録音してください。	34、97
74 分以内に同じ曲の高速録音はできません	高速録音した曲を録音開始から 74 分以内に再び高速録音しようとした	著作権保護のため内部タイマがはたらいています。 74 分以上待つか、標準で録音してください。	34、97
高速録音できません 標準で録音してください	・EmphasisCD のときは高速録音できません。 ・USB 機器への録音で、録音品質 HQ のときは高速録音できません。	標準で録音してください。	34
ランダム再生での録音はできません	再生モードがランダムのときに録音しようとした	ランダム再生での録音はできません。	－
プログラム再生中は登録できません	プログラム再生中にプログラム登録しようとした	プログラム再生中はプログラムの登録内容を変更できません。 再生を停止してから変更してください。	33、60、83
プログラム再生中は削除できません	プログラム再生中にプログラム登録を削除しようとした		
プログラム再生中は変更できません	プログラム再生中にプログラム登録した曲順を変えようとした		
最大登録数を超えました	プログラムの最大登録数（32 個）を超えた	プログラムされているトラックを削除してください。	－
高速録音中は変更できません	高速録音中に音量等のサウンド設定を変更した	高速録音中は音量等のサウンド設定は変更できません。	－
録音用の一時メモリー不足です	MTP 機器への転送のために録音を一時記憶しておくメモリーの容量が不足している	内蔵メモリーの不要な曲を削除して空き容量を増やしてください。	78
このソースからの MTP 機器への録音はできません	ラジオや外部機器からの MTP 機器への録音をしようとした	MSC 接続ができる USB 機器をご使用ください。 または、内蔵メモリーに録音してから、MTP 機器へ移動してください。	39、42、45

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書
所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。
補修用性能部品の最低保有期間
製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書

持込修理

品名 オーディオ商品 型名 RD-M8 -S/-W/-P/-H	製造番号

お客様		
	お名前	ふりがな 様
	ご住所	□□□-□□□□ 電話（ ） -

お買い上げ年月日 年 月 日	保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
お買い上げ店 住所・店名・電話		

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
   (1) 本書のご提示がない場合。
   (2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
   (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
   (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用電源（電圧･周波数）による故障および損傷。
   (6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
   (7) 一般家庭用以外（例えば業務用などへの長時間使用および車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   (8) 消耗品（電池など）の消耗。
   (9)（持込修理対象商品の場合）
   持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
   (10)（出張修理対象商品の場合）
   離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
   (11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウエア、ファームウエアが原因となって損傷が発生した場合。
4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター（株）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または116ページのビクターサービス窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  1. 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  2. 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

修理に持ち込まれた商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いいたしますが、事前にバックアップを取っておかれることをお勧めします。修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってフラッシュメモリの初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。

■ 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
■ 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
■ 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに✓マークをお願いします。　□同意する　□同意しない

日付：　　年　　月　　日

ご署名：

修理や点検を依頼されるときは、この同意書にご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

都府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
東北			
青森	青　森S.S.	(017)723-2261	青森市緑一丁目5-1
秋田	秋　田S.S.	(018)824-3189	秋田市八橋本町三丁目6-23 TMビル1F
岩手 宮城 山形	仙　台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
福島	郡　山S.S.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3

都府県名	窓口名	TEL	所在地
近畿			
京都 滋賀	京　都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪 和歌山 奈良 兵庫	大　阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
近畿エンジニアリングセンター		(06)6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28

都府県名	窓口名	TEL	所在地
関東・甲信越			
新潟	新　潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
群馬	前　橋S.S.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 JVCケンウッド前橋工場第2棟1F
栃木	宇都宮S.S.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
埼玉	大　宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区宮原町一丁目202
千葉 茨城	千　葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏　S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
神奈川	横　浜S.C.	(045)937-7185	横浜市緑区白山一丁目16-2 JVCケンウッド白山事業所1F
【業務用機器専門】のご相談窓口：J＆Kビジネスソリューション株式会社			
お客様サポートセンター		(045)939-7320	横浜市緑区白山一丁目16-2 JVCケンウッド白山事業所2F
東京 長野 山梨	東東京S.C.	(03)6381-8400	江東区平野3-2-6 木場パークビル1F
	八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2967-3 JVCケンウッド八王子事業所A棟1F
東海・北陸			
静岡	静　岡S.S.	(054)262-8941	静岡市葵区沓谷五丁目61-1
愛知 岐阜 三重	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
石川 富山 福井	金　沢S.S.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17

都府県名	窓口名	TEL	所在地
中国・四国			
岡山	岡　山S.S.	(086)243-1566	岡山市北区野田5丁目17-19
広島 山口 島根 鳥取 愛媛	広　島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
香川 高知 徳島	高　松S.S.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
九州・沖縄			
福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
	福　岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)268-0030	鹿児島市小松原1-5-17
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目11-12 コモンズビル1F

(1011)

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、
あらかじめご了承ください。

※略号について
S.C.はサービスセンター、S.S.はサービスステーションの略称です。

●出張修理のご依頼およびビクター製品についてのご相談窓口

出張修理のご依頼、お買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター	(0120)2727-87（フリーダイヤル）	携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は下記の番号へおかけ願います。		
		(045)450-8950	〒221-0022	横浜市神奈川区守屋町3丁目12

（注）発信者番号通知が非通知でフリーダイヤルへおかけの場合は、はじめに『186』を付けて、『186-0120-2727-87』とダイヤルしてください。

用語解説

アルファベット

・DRM
デジタル著作権管理（Digital Rights Management）の略。デジタルデータの著作権を保護する技術。音楽や動画データの不正なコピーや配布を防ぐことができます。
・MP3
音声圧縮方式の一つ。ファイルサイズが小さく、再生可能な機器が多い。
・MSC
➡ USB マスストレージ規格（MSC）
・MTP
メディア・トランスファー・プロトコル（Media Transfer Protocol）の略。デジタルオーディオプレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話、ビデオプレーヤーなどのポータブル機器と Windows® パソコンを接続し、音楽 / 動画 / 静止画などのデータを双方向に転送するためのプロトコル（通信規約）。MTP 対応機器の主な特長としては、WMA-DRM（著作権保護付き）ファイルを安全に転送 / 再生できることなどがあります。
・**USB マスストレージ規格（MSC）**
USB 機器の規格の 1 つ。パソコンのUSB 端子に接続した際に、特別なドライバーやアプリケーションを必要とせずに外部メモリーとして扱うことができます。
・WMA
Windows メディア・オーディオ（Windows Media Audio）の略。Microsoft® 社が開発した音声コーデック。Windows Media® Player がサポートする標準の圧縮方式。音声データを非可逆圧縮方式で圧縮し、MP3 よりも高い圧縮率で高音質な音声を再現できます。
・WMA-DRM
著作権保護に対応した WMA 形式のファイル。（➡ DRM）

ア行

・**αサウンド**
α（アルファ）波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。
ビクターのα DIMENSION SOUND は、サウンド回路の要である左右差信号（L -間接音）にα波周波数でゆらぎを与え（LFO 変調）、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正しています。
これにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

カ行

・**カラーフォルダ**
本機の内蔵メモリーに用意されている 7 つのフォルダ。各ソース（音源）から録音した曲（ファイル）を保存する。

サ行

・**スナップショット**
ラジオ放送および LINE の音声を最大 2 分前までさかのぼって録音できる機能。

タ行

・**トラックマーク**
録音部分に記録される「区切り」のこと。トラックマークがつくと新しい曲（ファイル）として録音される。

ハ行

- **ブックマーク**
  メモリーおよび USB 機器内の好きな曲を登録するリスト。ブックマークに登録された曲はまとめてプレイリストとして保存することができる。
- **プレイリスト**
  ブックマークに登録された曲をリストとしてまとめたもの。複数保存することができる。プレイリストを選ぶと、そのプレイリストに登録された曲が順に再生される。

ラ行

- **録音品質**
  HQ：高音質で録音できる。録音できる曲数は SP、LP に比べて少ない。
  SP：標準
  LP：音質はＨＱ、ＳＰに比べて劣るが、多くの曲を録音できる

主な仕様 －本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります－

ＣＤプレーヤー部	
形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2 チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz ～ 20kHz
チューナー部	
受信周波数	FM：76.00MHz ～ 108.00MHz AM：531kHz ～ 1,629kHz
アンテナ	FM：75 Ω不平衡型 / ロッドアンテナ AM：ループアンテナ

USB 部	
USB 端子	USB　Ver.1.1
形式	MTP/MSC
ファイルシステム	FAT/FAT32（NTFS には対応していません）
再生フォーマット	MP3、WMA、WAV（リニア PCM、MSC のときのみ）
音声圧縮録音方法	MP3、WMA
USB 出力電源	DC5V ⎓ 500mA
タイマー部	
タイマー形式	4 プログラム動作（オン・オフタイマー）（毎週 /1 回切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150、180 分（ディマー機能付）
時計表示	12 時間、24 時間表示

内蔵メモリー部

形式 フラッシュメモリー

容量 8GB
・メモリー容量の一部をシステム領域に使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示より少なくなります。

再生フォーマット MP3、WMA、WAV

音声圧縮録音方式 MP3、WMA

録音品質 MP3： 録音時のモードHQ：192kbps（1曲4分として約1,300曲）
録音時のモードSP：128kbps（1曲4分として約2,000曲）
録音時のモードLP：64kbps（1曲4分として約4,000曲）

WMA： 録音時のモードHQ：128kbps（1曲4分として約2,000曲）
録音時のモードSP：96kbps（1曲4分として約2,700曲）
録音時のモードLP：64kbps（1曲4分として約4,000曲）

メモリー / ＵＳＢ機器間の録音（移動）速度

録音品質	圧縮方式			
	MP3		WMA	
HQ	192kbps	最大約16倍速	128kbps	最大約25倍速
SP	128kbps	最大約25倍速	96kbps	最大約33倍速
LP	64kbps	最大約50倍速	64kbps	最大約50倍速

共通部

スピーカー 8cm（丸形×2)、4Ω

入力端子 LINE IN
（φ3.5ステレオミニ×1）
500mV/47kΩ：LEVEL1
250mV/47kΩ：LEVEL2
125mV/47kΩ：LEVEL3

出力端子 LINE OUT
（φ3.5ステレオミニ×1）
250mV/2.5kΩ
PHONES
（φ3.5ステレオミニ×1）
15mW＋15mW/32Ω
適合インピーダンス
16Ω～1kΩ

実用最大出力 4W＋4W（JEITA/AC）

電源 AC100V(50Hz/60Hz共用)

消費電力 電源「入」時 23W
電源「待機」時 6W
(「表示オン」表示窓点灯）
電源「待機」時 1.00W以下
(「表示オフ」表示窓消灯）

最大外形寸法 幅430mm×高さ165mm×奥行250mm

質量 約4.6kg

再生対応フォーマット[*1]

メモリー /USB

MP3 ：8kbps ～ 320kbps、
8kHz ～ 48kHz、VBR
WMA ：8kbps ～ 320kbps、
8kHz ～ 48kHz、VBR
WAV ：16bit、リニアPCM
8kHz ～ 48kHz/IMA-ADPCM

[*1] サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
VBR：可変ビットレート

・JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

索引

別売のオプション品

・接続コード：LINE 端子の接続用 **CN-203A**（オーディオ機器用）

・ＦＭフィーダーアンテナ：**CN-511B**（**300 Ω**）（アンテナコネクターと一緒に使います）

• 別売のオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
116 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル®**0120 − 2828 − 17** 携帯電話・PHS・FAX などからのご利用は **電話（045）450 − 8950** **FAX（045）450 − 2275** 〒 221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、114 ページをご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒 221-8528　横浜市神奈川区守屋町 3-12

0410TMMMDWJMM

RD-M8 -S/-W/-P/-H

CD メモリーポータブルシステム

取扱説明書／保証書